昭和五年十二月現在

岡山醫科大學一覽

287-9

岡山醫科大學一覽

目次

⊙沿革略　一頁
⊙大學令ニ關スル法令
大學令　一頁
官立醫科大學官制　一頁
⊙學位　一頁
學位令　一頁
岡山醫科大學學位規程　一頁
⊙官立大學長職務規程　一頁
⊙官立大學教官ノ職務俸ニ關スル件　一頁
⊙名譽教授ノ待遇ニ關スル件　一頁

發行所寄贈本

昭和六年

⊙岡山醫科大學職員 三七頁
⊙岡山醫科大學規則
第一章 學期及休業日 五八頁
第二章 授業、學科目 五八頁
第三章 入學、在學、休學、退學轉學及除籍 五九頁
第四章 試驗及卒業 六四頁
第五章 試驗手數料、入學料及授業料 六八頁
第六章 服裝 七一頁
第七章 懲戒 七二頁
第八章 外國學生 七二頁
第九章 專攻生 七三頁
⊙岡山醫科大學研究科規程 七三頁
⊙岡山醫科大學副手規程 七六頁
⊙岡山醫科大學附屬醫院規程 七六頁
⊙岡山醫科大學附屬醫院產婆看護婦養成科規則 八二頁
⊙岡山醫科大學附屬圖書館規程 九三頁
⊙岡山醫科大學奬學資金規程 九七頁
⊙學生 九九頁
學生道府縣別人員表 一〇四頁
⊙建物略圖 一〇七頁
⊙附錄 一〇七頁
學友會規則 一〇七頁
岡山醫科大學卒業生 一一五頁
元第三高等中學校醫學部、元第三高等學校醫學部卒業生 一一九頁
元岡山醫學專門學校、元岡山醫科大學附屬醫學專門部卒業生 一二一頁

岡山醫科大學一覽

⊙沿革略

岡山醫科大學ハ大正十一年勅令第百四十三號ニ依リ同年四月一日ヨリ設置セラレ岡山醫學專門學校ノ組織ヲ變更シテ成レルモノナリ。今迄ノ其沿革ヲ敍スヘシ

明治三年四月岡山藩大ニ醫學ノ進歩ヲ圖リ、備前國上道郡門田村操山ノ麓ニ醫學館及大病院ヲ開設シ、毎年約米五千苞ヲ給シテ其資ニ充テ、淺野學ヲ督事ニ任シ蘭醫魯依篤兒等ヲ敎師ニ聘シ醫學生徒ヲ敎育シ、廣ク患者ヲ治療ス。

明治四年七月更ニ小病院ヲ岡山中之町ニ設ク、是ヨリ先淺野學ノ督事ヲ免シ田坂辰三郎ヲ以テ之ニ代フ、十二月普通學校ヲ開設シ、醫學館ヲ醫學所ト改稱シ其附屬トナス。

明治五年二月醫學所及大病院ヲ閉鎖シ、唯小病院ノミヲ存ス、四月之ヲ再興シ、生田安宅ヲ以テ總括トナス。七月醫學所、大病院及小病院ヲ合併シ中村謙次郎ヲ取締ニ任シ、病院中ニ醫學所ヲ設ケ、之ヲ醫學教場ト稱ス、是ヨリ後明治十三年マテ醫學教場ハ全ク病院ノ附屬タリ。幾モナク中村謙次郎其職ヲ罷メ生田安宅代テ取締ノ事ヲ行フ。

明治六年八月病院ヲ岡山榮町ニ移ス。

明治八年八月始メテ病院長ヲ置キ、生田安宅ヲ以テ之ニ任ス。

明治九年四月公立病院ヲ縣立病院トナス。六月生田安宅ノ病院長ヲ免シ、若栗章ヲ以テ之ニ代フ。

明治十二年三月公立病院ヲ縣立病院トナス。五月病院ヲ岡山弓之町ニ移ス。七月若栗章辭職ス。十月清野勇ヲ病院長兼醫學教頭ニ任ス。

明治十三年九月醫學教場ヲ病院ト分離獨立セシメ岡山縣醫學校ト改稱シ、菅之芳ヲ校長ニ任ス。

明治十五年四月本校卒業生ハ別ニ試驗ヲ要セス直ニ內務省ヨリ開業免狀ヲ交付セラルヽコトヽナレリ。蓋シ其特典ヲ得タルハ、醫學校中ニ於テ本校ヲ以テ嚆失トス。

明治十六年六月校ヲ岡山內山下西丸ニ移ス。八月甲種醫學校ノ允許ヲ得タリ。

明治十八年八月六日　車駕山陽道御巡幸ノ節本校へ　臨御アラセラル。

明治十九年四月九日勅令第十五號ヲ以テ中學校令ヲ布カレ、全國ヲ五區ニ分劃シ每區ニ高等中學校一箇所ヲ設置スルコトヽナリ、同月二十九日勅令第三十五號ヲ以テ高等中學校ノ官制ヲ定メ、十一月三十日文部省告示第三號ヲ以テ各高等中學校ノ設置區域ヲ定メラル。

明治二十年八月十九日文部省告示第六號ヲ以テ各高等中學校ニ醫學部ヲ設置シ、第三高等中學校醫學部ヲ岡山ニ置カル。九月十七日文部省令第九號ヲ以テ高等中學校醫學部ノ學科及其程度ヲ定メラル。

明治二十一年二月四日岡山縣醫學校長兼教諭菅之芳第三高等中學校

醫學部長ヲ命セラル。三月三十一日岡山縣醫學校ヲ廢止ス。四月一日第三高等中學校醫學部ヲ開設ス、其校舍ハ岡山縣醫學校所用ノモノヲ假用シ、其生徒ノ階級ハ、舊醫學校生徒及各府縣舊醫學校生徒ヲ以テ之ヲ編制シ、其臨牀講義及治療ニ關スル實地演習ハ、總テ岡山縣病院ニ就テ之ヲ行フコトヽナス、同月八日開部式ヲ行フ。十二月二十七日　明治天皇陛下並ニ照憲皇太后陛下ノ御眞影ヲ拜戴ス。

明治二十二年三月二十二日文部省令第二號ヲ以テ高等中學校醫學部ニ藥學科ヲ附設シ、其學科及程度ヲ定メラル。五月二日地ヲ岡山內山下ニ相シ、茲ニ本校新築ノ工ヲ起ス。

明治二十三年二月六日文部省告示第一號ヲ以テ本校ニ藥學科ヲ附設セラル。同月十四日敎諭松尾周藏幹事ニ兼任ス。四月八日附設藥學科ヲ開設ス。七月十二日本校構內ニ病院新築ノ工ヲ起ス。同月二十一日去年五月起工セシ新築校舍略落成シタルニヨリ此ニ移轉ス。十月十五日勅令第二百三十號ヲ以テ直轄學校官制ヲ改正セラレ、敎諭、助敎諭ヲ改メ

テ敎授、助敎授ニ任シ、管部長ハ改メテ主事ヲ命セラル。十二月六日研究生規程ヲ定ム。同月二十七日敎育ニ關スル御宸署ノ勅語ヲ拜受ス。

明治二十四年一月十二日第一回勅語捧讀式ヲ行フ、七月一日病院新築工事略落成セシニヨリ岡山縣病院ヲ此ニ移轉セリ。同月二十四日勅令第百三十七號ヲ以テ直轄諸學校官制ヲ改正シ幹事ヲ廢セラル。九月二十四日文部省令第五號及第六號ヲ以テ醫學科ノ學科及其程度中各學科ノ授業時數及藥學科ノ學科及其程度中改正追加セラル。

明治二十六年九月十日醫科及藥學科ノ學科程度中英語ヲ外國語ト改メ之ヲ隨意科トナシ、裁判醫學ヲ法醫學ト改ム。

明治二十七年六月二十三日勅令第七十五號ヲ以テ高等學校令ヲ布カレ、七月十二日文部省令第十五號ニ據リ九月十一日ヨリ本校ヲ第三高等學校醫學部ト改稱シ、附設藥學科ヲ廢セラル、同日文部省令第十六號ヲ以テ修業年限及入學程度ノ件ヲ、又同月十七日同省令第十七號ヲ以

テ講座ノ數ヲ定メラル。

明治二十八年七月二十二日主事菅之芳非職ヲ命セラレ、內科學研究ノ爲メ滿二年間獨國へ留學ヲ命セラル。七月三十一日教授熊谷省三主事ヲ命セラル。同月二十一日自今卒業生ハ醫學得業士ト稱スルコトヲ得、元第三高等中學校醫學部卒業生ハ學力檢定ノ上得業士ト稱スルコトヲ得ル規定ヲ定ム。

明治二十九年九月十七日特待生規程ヲ定ム。

明治三十年十二月十日曩ニ獨國へ留學ヲ命セラレタル非職教授菅之芳歸朝セシニ依リ復職(主事故ノ如シ)ヲ命セラレ、教授熊谷省三ノ主事ヲ免セラル。

明治三十四年三月三十一日勅令第二十四號文部省直轄諸學校官制中改正ニ基キ、四月一日文部省令第八號ニ據リ四月一日ヨリ第三高等學校醫學部ヲ第三高等學校ヨリ分離シテ、岡山醫學專門學校ト稱スルコトヲ得ル。本校ハ明治二十一年四月ヨリ第三高等中學校ノ所屬タリシカ此ニ至リ

テ始メテ獨立セリ。四月一日教授菅之芳學校長ニ任セラル。

明治三十六年三月二十六日勅令第六十一號ヲ以テ專門學校令ヲ公布セラル。同月三十一日專門學校入學者檢定規程ヲ定メラル。

明治三十九年七月九日爾今卒業證書授與式ヲ廢止ス。

明治四十年四月十日文部省令第十號ヲ以テ官立醫學專門學校規程ヲ定メラル。

明治四十一年十一月二日規則中ヲ改正シ、明治四十一年以後ノ卒業者ハ岡山醫學專門學校醫學士ト稱スルコトヲ得ルコトヽセリ。

明治四十二年五月二十日規則中ヲ改正シ、明治四十年以前ノ卒業者ニシテ岡山醫學專門學校醫學士ト稱スルコトヲ得ル者ヲ規定ス。

明治四十三年二月十日外國人特別入學規定細則ヲ定ム。十一月十七日御沙汰ニヨリ恒久王殿下本校ニ台臨アラセラル。

大正二年七月十五日校長兼教授菅之芳願ニ依リ本官並兼官ヲ免セラ

レ千葉醫學專門學校敎授筒井八百珠學校長兼敎授ニ任セラル。

大正三年三月三十日菅之芳ヨリ内科學特別奬學金トシテ金壹千圓ヲ寄贈ス。

大正四年六月十七日菅忠芳ヨリ菅奬學資金トシテ公債額面貳千參百圓ヲ寄附ス。十月二十二日　天皇陛下御眞影拜戴式ヲ行フ。

大正五年十月二十三日　皇后陛下御眞影、皇太子殿下御影拜戴式ヲ行フ。十二月二十三日山上賴治ヨリ學校敷地内ニ金拾萬圓ヲ以テ研究所及其設備一切ノ寄附ヲ出願ス。

大正七年一月八日文部省令第一號ヲ以テ官立醫學專門學校規程中ヲ改正セラル。二月二十一日病理學敎室及藥物學敎室改築校舍竣工ス、是ヨリ先キ岡山市外鹿田村ニ本校ヲ移轉改築スルコトヽナリ、大正六年一月ヨリ其工事ニ着手セシモノナリ。四月十三日本校官立三十年岡山縣病院縣立四十年祝賀式ト共ニ記念祝賀式ヲ擧行ス。十二月七日解剖學敎室及附屬室竝ニ生徒控所改築工事竣成ス。

大正八年九月三十日生理學敎室竝ニ實驗室其他竣工ス。

大正九年十月四日本館及衛生學細菌學敎室其他竣工ス。

大正十年一月二十八日校長兼敎授筒井八百珠薨去、同日敎授舟岡英之助學校長事務取扱ヲ命セラル。三月三十日勅令第四十九號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中ヲ改正シ其結果四月一日ヨリ元岡山縣病院ヲ繼承シ之ヲ附屬醫院トナス。四月一日附屬醫院規則及附屬醫院看護婦養成規則ヲ定ム。同日敎授覧繁附屬醫院長兼醫長ヲ命セラル。同月十四日事務所ヲ新築校舍ニ移轉ス。同月二十五日醫化學講義室竝同實驗室及附屬室竣工ス。五月三十日敎授藤田秀太郎學校長兼敎授ニ任セラレ敎授舟岡英之助ノ學校長事務取扱ヲ免セラル。

大正十一年三月三十一日勅令第百四十二號ヲ以テ文部省直轄諸學校官制中ヲ改正シ岡山醫學專門學校ヲ削ラル。同日勅令第百四十三號ヲ以テ官立醫科大學ヲ置カル。四月一日藤田秀太郎大學長兼敎授ニ任シ附屬醫學專門部主事ニ補セラレ覧繁附屬醫

院長ニ補セラレ教授以下職員ノ任命アリ。同月二十五日第一年級ノ授業ヲ開始ス。五月五日入學宣誓式ヲ擧行ス。六月二十一日教授筧繁ノ附屬醫院長ヲ免シ教授藤田秀太郎附屬醫院長ニ補セラル。

大正十二年三月三十日勅令第九十三號ヲ以テ官立醫科大學官制中ヲ改正セラル。九月二十六日教授田中文男附屬醫院長ニ補セラレ教授藤田秀太郎ノ同醫院長ヲ免セラル。大學長藤田秀太郎歐米各國視察ノ爲出張ヲ命セラレ十月十五日出發ス依テ教授上坂熊勝ニ學長事務代理ヲ命ス。

大正十三年二月四日研究科規程中ヲ改正ス。四月二十一日勅令第九十四號ヲ以テ官立醫科大學官制中ヲ改正シ附屬醫學專門部ヲ廢止セラル。同月十三日大學長藤田秀太郎歸朝ス依テ教授上坂熊勝ノ學長事務代理ヲ解ク。

大正十四年三月十四日大學長兼教授藤田秀太郎願ニ依テ本官竝兼官ヲ免セラレ同日教授田中文男大學長ニ任セラレ越エテ同二十五日教

授ニ兼任セラル。同二十三日學則第三十五條ヲ改正シ授業料一箇年金百圓トス。三月三十一日教授赤岩八郎附屬醫院長ニ補セラル。十一月二日本學規則中第六條第七條及第三十七條ヲ改正ス。

大正十五年五月二十三日　皇太子殿下中國地方御巡啓ノ砌本學ヘ行啓遊サル。十一月三十日教授上坂熊勝ヨリ上坂奬學資金トシテ公債額面金貳千圓ヲ寄附ス。

昭和二年三月三十一日教授赤岩八郎ノ附屬醫院長ヲ免セラレ教授林道倫附屬醫院長ニ補セラル。

昭和三年十月十日　天皇陛下　皇后陛下御眞影拜戴式ヲ行フ。十月二十九日勅令第二百五十五號ヲ以テ官立醫科大學官制中ヲ改正セラル。

昭和四年三月十二日教授林道倫ノ附屬醫院長ヲ免セラレ教授柿沼昊作附屬醫院長ニ補セラル。三月三十一日學則第三十五條ヲ改正シ授業料一箇年金百貳拾圓トス。大學長田中文男歐米各國醫事狀況視察ヲ命セラレ五月二十日出發ス仍テ教授上坂熊勝ニ學長事務代理ヲ命ス。十

一月十八日大學長田中文男歸朝敎授上坂熊勝ノ學長事務代理ヲ解ク。

十二月十七日勅令第三百五十七號ヲ以テ官立醫科大學官制中ヲ改正セラル。

昭和五年十一月四日勅令第二百十三號ヲ以テ官立醫科大學官制中ヲ改正セラル。同十二日陸軍特別大演習御陪觀ノ爲岡山御滯在中ノ賀陽宮恒憲王殿下本學へ台臨遊サル。同十八日　天皇陛下陸軍特別大演習御統裁ノ爲岡山御駐輦中御沙汰ニヨリ本多侍從ヲ本學ニ御差遣相成リタリ。

⊙大學ニ關スル法令

大學令

勅令第三百八十八號（大正七年十二月六日）

（昭和三年一月勅令第七號改正）

第一條　大學ハ國家ニ須要ナル學術ノ理論及應用ヲ敎授シ竝其ノ蘊奥ヲ攻究スルヲ以テ目的トシ兼テ人格ノ陶冶及國家思想ノ涵養ニ留意スヘキモノトス

第二條　大學ニハ數箇ノ學部ヲ置クヲ常例トス但シ特別ノ必要アル場合ニ於テハ單ニ一箇ノ學部ヲ置クモノヲ以テ一大學ト爲スコトヲ得

學部ハ法學、醫學、工學、文學、理學、農學、經濟學及商學ノ各部トス特別ノ必要アル場合ニ於テ實質及規模一學部ヲ構成スルニ適スルトキハ前項ノ學部ヲ分合シテ學部ヲ設クルコトヲ得

第三條　學部ニハ研究科ヲ置クヘシ

數個ノ學部ヲ置キタル大學ニ於テハ研究科間ノ聯絡協調ヲ期スル爲之ヲ綜合シテ大學院ヲ設クルコトヲ得

第四條　大學ハ帝國大學其ノ他官立ノモノヽ外本令ノ規定ニ依リ公立又ハ私立ト爲スコトヲ得

第五條　公立大學ハ特別ノ必要アル場合ニ於テ北海道、府縣及市ニ限リ之ヲ設立スルコトヲ得

第六條　私立大學ハ財團法人タルコトヲ要ス但シ特別ノ必要ニ因リ學校經營ノミヲ目的トスル財團法人カ其ノ事業トシテ之ヲ設立スル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第七條　前條ノ財團法人ハ大學ニ必要ナル設備又ハ之ニ要スル資金及少ナクトモ大學ヲ維持スルニ足ルヘキ收入ヲ生スル基本財產ヲ有スルコトヲ要ス

基本財產中前項ニ該當スルモノハ現金又ハ國債證券其ノ他文部大

臣ノ定ムル有價證券トシ之ヲ供託スヘシ

第八條　公立及私立ノ大學ノ設立廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

學部ノ設置廢止亦同シ

前項ノ認可ハ文部大臣ニ於テ勅裁ヲ請フヘシ

第九條　學部ニ入學スルコトヲ得ル者ハ當該大學豫科ヲ修了シタル者、高等學校高等科ヲ卒リタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリト認メラレタル者トス

入學ノ順位ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第十條　學部ニ三年以上在學シ一定ノ試驗ヲ受ケ之ニ合格シタル者ハ學士ト稱スルコトヲ得

前項ノ在學年限ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上トス

第十一條　研究科ニ入ルコトヲ得ル者ハ醫學ヲ修ムル者ニ在リテハ四年以上其ノ他ノ者ニ在リテハ三年以上當該學部ニ在學シ其ノ他相當ノ學力ヲ具ヘタル者ニシテ當該學部ニ於テ適當ト認メタルモ

ノトス

第十二條　大學ニハ特別ノ必要アル場合ニ於テ豫科ヲ置クコトヲ得
大學豫科ニ於テハ高等學校高等科ノ程度ニ依リ高等普通教育ヲ爲
スヘシ

第十三條　大學豫科ノ修業年限ハ三年又ハ二年トス
修業年限三年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校第四學
年ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ
學力アリト認メラレタル者トス
修業年限二年ノ大學豫科ニ入學スルコトヲ得ル者ハ中學校ヲ卒業
シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力アリ
ト認メラレタル者トス

第十四條　大學豫科ノ設備、編制、教員及教科書ニ付テハ高等學校高等
科ニ關スル規定ヲ準用ス

第十五條　大學豫科ノ生徒定數ハ毎年ノ豫科修了者ノ員數カ其ノ年

當該大學ニ收容シ得ル員數ヲ超過セサル程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第十六條　大學及大學豫科ノ學則ハ法令ノ範圍内ニ於テ當該大學之
ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十七條　公立及私立ノ大學ニハ相當員數ノ專任教員ヲ置クヘシ

第十八條　私立大學ノ教員ノ採用ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ公立
大學ノ教員ニシテ官吏ノ待遇ヲ受ケサル者ニ付亦同シ

第十九條　公立及私立ノ大學ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス

第二十條　文部大臣ハ公立及私立ノ大學ニ對シ報告ヲ徵シ檢閲ヲ行
ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第二十一條　本令ニ依ラサル學校ハ勅令規程ニ別段ノ定アル場合ヲ
除クノ外大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字
ヲ用ウルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正八年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

本令施行ノ際現ニ大學ト稱シ又ハ其ノ名稱ニ大學タルコトヲ示スヘキ文字ヲ用ウル學校ニハ當分ノ內第二十一條ノ規定ヲ適用セス

官制改正技手定員設置

官立醫科大學官制

勅令第百四十三號（大正十一年三月三十一日）

（大正十二年三月勅令第九三號十三年四月第九四號五月第一三四號十四年四月第七九號十五年九月第三〇二號昭和二年十二月第三六四號三年十月第二五五號四年四月勅令第七五號十二月勅令第三五七號五年十一月勅令第二一三號改正）

第一條　官立醫科大學ハ左ノ如シ

新潟醫科大學
岡山醫科大學
千葉醫科大學
金澤醫科大學
長崎醫科大學
熊本醫科大學

第二條　官立醫科大學ニ左ノ職員ヲ置ク

大學長
教授
助教授

事務官
學生主事
助手
書記
學生主事補
司書
技手

第三條　大學長ハ勅任トス文部大臣ノ監督ヲ承ケ官立醫科大學一般ノ事ヲ掌リ所屬職員ヲ統督ス

大學長ハ高等官ノ進退ニ關シテハ文部大臣ニ具狀シ判任官ニ關シテハ之ヲ專行ス

第四條　教授ハ奏任又ハ勅任トス學生ヲ教授シ其ノ研究ヲ指導ス

第五條　助教授ハ奏任トス教授ヲ助ケテ授業及實驗ニ從事ス

第六條　事務官ハ奏任トス大學長ノ命ヲ承ケ庶務會計ヲ掌理ス

第七條　學生主事ハ奏任トス大學長ノ命ヲ承ケ學生及生徒ノ指導監督ヲ掌ル

第八條　助手ハ判任トス教授又ハ助教授ノ指揮ヲ承ケ學術ニ關スル職務ニ服ス

第九條　書記ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ庶務會計ニ從事ス

第九條ノ二　學生主事補ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ學生主事ノ職務ヲ助ク

第九條ノ三　司書ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ附屬圖書館ニ於ケル圖書記錄ノ整理、保存及閱覽ニ關スル事務ニ從事ス

第九條ノ四　技手ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス

第十條　大學長ハ必要アル場合ニ於テハ講師ヲ囑託スルコトヲ得

第十一條　官立醫科大學ニ教授會ヲ置キ教授ヲ以テ之ヲ組織ス

大學長ハ教授會ヲ召集シ其ノ議長ト爲ル

第十二條　教授會ハ左ノ事項ヲ審議ス

一　學科課程ニ關スル事項
二　學生ノ試驗ニ關スル事項
三　學位ニ關スル事項
四　文部大臣又ハ大學長ノ諮詢シタル事項

第十三條　大學長ハ必要アリト認ムルトキハ助教授、學生主事又ハ講師ヲ教授會ニ列席セシムルコトヲ得

第十四條　官立醫科大學ニ附屬醫院ヲ置ク
附屬醫院ニ左ノ職員ヲ置ク
醫院長
藥局長
藥劑手
看護長

第十五條　醫院長ハ教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス大學長ノ監督ヲ承ケ醫院ノ事務ヲ掌理ス

第十六條　藥局長ハ奏任トス醫院長ノ監督ヲ承ケ醫院藥局ノ事務ヲ掌理ス

第十七條　藥劑手ハ判任トス藥局長ノ指揮ヲ承ケ醫院藥局ニ關スル職務ニ服ス

第十八條　看護長ハ判任トス上官ノ命ヲ承ケ醫院ニ於ケル看護ニ關スル職務ニ服ス

第十九條　千葉醫科大學、金澤醫科大學及長崎醫科大學ニ附屬藥學專門部ヲ置ク
專門部ニ教授及助教授ヲ置ク
教授ハ奏任、助教授ハ判任トス生徒ノ教育ヲ掌ル
專門部ニ主事ヲ置ク專門部教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス
大學長ノ命ヲ承ケ專門部ノ事務ヲ掌理シ職員ヲ監督ス

第二十條　官立醫科大學附屬醫院及附屬專門部ノ專任職員ノ定員ハ別表ニ依ル

第二十一條　官立醫科大學ニ功勞アリ又ハ學術上效績アル者ニハ勅旨ニ依リ名譽教授ノ名稱ヲ與フルコトアルヘシ

第二十二條　官立醫科大學ニ附屬圖書館ヲ置ク

圖書館ニ圖書館長ヲ置ク教授又ハ助教授ノ中ヨリ文部大臣之ヲ補ス

圖書館長ハ大學長ノ監督ノ下ニ於テ圖書館ノ事務ヲ掌理ス

官立醫科大學職員定員表　（抄）

	大學長	教授	助教授	事務官	學生主事	助手	書記	學生主事補	司書	技手	附屬醫院	藥局長藥劑手	看護長
岡山醫科大學	一人	二十四人	二十三人	一人	一人	六十二人	十四人	一人	一人	二人	一人	一人	十人	十三人

⊙學位

學位令

勅令第二百號（大正九年七月六日）

第一條　學位ハ博士トス

第二條　學位ハ大學ニ於テ文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ授與ス

第三條　博士ノ種類ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第四條　學位ヲ授與セラルヘキ者ハ大學學部研究科ニ於テ二年以上研究ニ從事シ論文ヲ提出シテ學部教員會ノ審査ニ合格シタル者又ハ論文ヲ提出シテ學部教員會ニ於テ之ト同等以上ノ學力アリト認メタル者トス

第五條　學部教員會ハ前條ノ論文審査ニ付其ノ提出者ニ對シ試問ヲ行フコトヲ得

第六條　大學ニ於テ學位授與ノ許可ヲ申請スルトキハ論文及其ノ審査ノ要旨ヲ添付スヘシ

第七條　學位ヲ授與セラレタル者ハ授與ノ日ヨリ六月内ニ其ノ提出ニ係ル論文ヲ印刷公表スヘシ但シ學位授與前既ニ印刷公表セラレタルモノナルトキ又ハ文部大臣ニ於テ其ノ印刷公表ヲ相當ナラスト認メタルモノナルトキハ此限ニ在ラス

第八條　大學ハ論文ノ審査ニ付手數料ヲ徴收スルコトヲ得

第九條　學部教員會ニ於ケル論文審査ノ手續其ノ他學位ニ關スル規程ハ大學ニ於テ之ヲ定メ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ

第十條　學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アルトキハ大學ニ於テ學位ニ關スル規程ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ經テ學位ノ授與ヲ取消スコトヲ得

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス・

明治三十一年勅令第三百四十四號學位令及博士會規則ハ之ヲ廢止ス但シ舊令ニ依リ授與シタル學位ハ仍其ノ效力ヲ有ス

本令施行前論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シタル者ニ對シテハ舊令ニ依リ學位ヲ授與ス

舊令ニ依ル學位ヲ有スル者其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アルトキハ文部大臣其ノ學位ヲ褫奪ス

岡山醫科大學學位規程

第一條　本學ニ於テ授與スル學位ハ醫學博士トス

第二條　本學研究科ニ於テ二年以上研究ニ從事シタルモノハ其ノ研究事項ニ就キ論文ヲ學長ニ提出シ學位ヲ請求スルコトヲ得

前項ニ該當セサル者ニシテ學位ヲ請求セントスル者ハ履歷書ヲ添ヘ論文ヲ學長ニ提出スヘシ

第三條　學位請求論文ハ自著一編（三通）トス但シ參考トシテ他ノ論文ヲ附加スルコトヲ得

論文ハ之ヲ返付セス

第四條　第二條第二項ニヨリ學位ヲ請求スル者ハ審査手數料金百圓ヲ納付スヘシ

既納ノ料金ハ之ヲ返付セス

第五條　提出セラレタル論文ハ學長之ヲ本學教授會ノ審査ニ附ス

第六條　本學教授會ハ審査ニ付セラレタル論文ニ就キ教授中ヨリ貳

名以上ノ委員ヲ選定シテ之ヲ調査セシム但シ必要アリト認メタルトキハ助教授又ハ講師ヲ以テ委員ニ充ツルコトヲ得

調査ニ必要アル時ハ論文ノ譯文又ハ標本等ヲ提出セシメ場合ニ依リテハ試問ヲ行フコトアルヘシ

第七條　調査委員ハ一箇年以內ニ論文ノ要旨ヲ記錄シ調査ノ結果ヲ教授會ニ報告スルモノトス但シ特別ノ事情アル時ハ教授會ノ議決ニヨリ調査期間ヲ延長スルコトヲ得

第八條　學位授與ノ決定ヲ爲スニハ在職教授ノ三分ノ二以上出席シ無記名投票ニ依リ出席教授三分ノ二以上ノ贊成アルコトヲ要ス

海外旅行中ノ教授ハ前項ノ數ニ算入セス

第九條　本學ヨリ學位ヲ授與セラレタル者ニシテ其ノ榮譽ヲ汚辱スル行爲アリタル時ハ學長ハ教授會ノ議決及文部大臣ノ認可ヲ經テ學位ノ授與ヲ取消シ學位記ヲ還付セシム

教授會ニ於テ前項ノ議決ヲ爲スニハ在職教授ノ三分ノ二以上出席

シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

前條第二項ノ規定ハ此場合ニモ準用ス

第十條　學位記ノ樣式左ノ如シ

學位記

道府縣
氏　名

右者論文ヲ提出シテ學位ヲ請求シ本學教授會ハ之ヲ授與スヘキ學力アリト認メタリ仍テ大正九年勅令第二百號學位令ニ依リ茲ニ醫學博士ノ學位ヲ授ク

年月日
第　號

岡山醫科大學印

⊙官立大學長職務規程

文部大臣訓令（大正九年四月二十一日）

第一條　高等官ノ除服、出仕、暇願及高等官任地外居住、他官廳其ノ他ノ事業囑託ニ應スルノ願及高等官ヲ內地ニ出張セシムルハ大學長ノ判行ニ任ス

第二條　大學長ハ高等官ニ事務分課ヲ命スルコトヲ得

第三條　大學長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ヲシテ其ノ事務ヲ代理セシムルコトヲ得

第四條　左ノ事項ハ文部大臣ノ許可ヲ受ケテ後施行スヘシ

第一　學科課程ノ設定及變更ニ關スルコト

第二　規則ノ設定及變更ニ關スルコト

但シ既定規則ノ範圍內ニ於テ其ノ細則ヲ設クルハ此ノ限ニアラス

第三　授業料、試驗料其ノ他諸收入金ノ定率ヲ定ムルコト

第四　外國人ヲ雇入レ其ノ契約ヲ定メ若ハ契約期間內ニ雇ヲ止ムルコト

第五　歲入歲出豫算ニ依ルノ外新ニ義務ヲ負擔シ及權利ヲ棄却スルコト

第六　學科課程ニ關係シ又ハ規則ノ設定變更ヲ要スル事項ヲ條件トスル寄附ヲ受クルコト

第七　八日以上臨時休業スルコト

第八　右ノ外例規ナキ重大ノ事件ヲ處理スルコト

⊙官立大學教官ノ職務俸ニ關スル件

勅令第三百九十二號　（大正十二年八月三十日）

官立大學ノ教授及助教授ニハ本俸ノ外學科ノ種類職務ノ繁閑ニ從ヒ俸給トシテ職務俸ヲ給スルコトヲ得

教授ノ職務俸ハ年額二千二百圓以下助教授ノ職務俸ハ年額千四百圓以下トス但シ職務俸ノ額ハ本俸ト合シテ六千圓ヲ本俸及年功加俸ト合シテ六千七百圓ヲ超ユルコトヲ得ス

附　則

本令ハ大正十二年十月一日ヨリ之ヲ施行ス

大正十一年勅令第百四十五號ハ之ヲ廢止ス

◉帝國大學名譽教授、官立大學名譽教授及文部省直轄諸學校名譽教授ノ待遇ニ關スル件

勅令第百五十二號（大正四年八月十日）

帝國大學名譽教授、官立大學名譽教授及文部省直轄諸學校名譽教授ハ勅任官ヲ以テ待遇ス

附　則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

⊙岡山醫科大學職員

昭和五年十二月一日現在

大學長　醫學博士　醫學士　田中文男　兵庫
事務官　文學士　横田春吉　福岡
學生主事　千輪清海　岡山

庶務課

課長事務官　横田春吉　福岡
庶務掛長書記　大西英男　岡山
警備掛長書記　楠野至厚　岡山
病室掛長書記　片岡英太郎　岡山
囑託　吉田信次　岡山

會計課

課長事務官　横田春吉　福岡
司計掛長書記　各務利彦　岡山

兼監査掛長　書記　木村鳳三　宮城
用度掛長　書記　小野義彦　岡山
出納掛長　書記　福島種次郎　岡山
書記　田中琢磨　廣島
兼　書記　楠野至厚　岡山
書記　太田龜次郎　岡山
書記　大橋勇平　岡山
技術掛長心得　囑託　千葉幸一郎　東京
囑託　吉田浩　岡山
囑託　御牧宗一　岡山
囑託　小坂哲二　岡山
囑託　菱木常吉　千葉
囑託　輕部恭　岡山

學生課

課長　學生主事　千輪清海　岡山
學生主事補　木村鳳三　宮城
兼　學生主事補　小野義彦　岡山
兼　學生主事補　福島種次郎　岡山
囑託　村上杢二　岡山

解剖學教室

教授　醫學博士　上坂熊勝　岡山
仝　醫學博士　八木田九一郎　大阪
仝　醫學博士　敷波重治郎　石川
助教授　池上馨一　岡山
仝　醫學博士　關正次　岡山
講師　醫學博士　佐藤國男　兵庫
助手　建義郎　岡山
仝　醫學士　村山高　新瀉

助手　國重隆一　山口
副手　大森三彦　岡山
副手　岡田眞一　廣島

生理學教室

教授　醫學博士　生沼曹六　石川
助教授　醫學博士　林香苗　德島
講師　西丸和義（在外研究中）　廣島
助手　村上隆德　香川
助手　香取正倫　千葉
副手　山本宗平　三重
副手　永光軍一郎　福岡
副手　丸田實喜　鹿兒島
副手　馬場武夫　香川

醫化學教室

教授　醫學博士　清水多榮　東京
助教授　醫學博士　上代晧三　岡山
講師　醫學博士　寺岡森太郎　廣島
助手　關藤忠雄　岡山
助手　牧野博　岡山
副手　辻鹿子治　岡山
副手　田中敬三　兵庫
副手　岡村竹次　岡山
副手　高田弘　岡山
副手　澁谷成利　京都
副手　星島忠夫　岡山
副手　浦城二郎　三重

細菌學教室

教授　醫學士　鈴木稔　東京

助手　渡邊眞澄　岡山

藥物學教室

教授　醫學博士　奧島貫一郎　愛媛
講師　醫學博士　高橋規浩　廣島
助手　醫學士　藤野源三　愛媛
副手　醫學士　谷尚一　兵庫
（在外研究中）
篠崎憲吉　愛媛
木下正之　鳥取
村上憲佑　廣島
高月三郎　長崎
坂本寛　福岡
德丸喬　愛媛

病理學教室

教授　醫學博士　田村於兎　福島

助手　田部浩　廣島
助教授　醫學博士　濱崎幸雄　三重
（在外研究中）
副手　玉川忠太　兵庫
醫學士　吉田智一　鹿兒島
菊澤隆尚　三重
佐野進　兵庫
河村九十九　滋賀
渡邊雅男　岡山
醫學士　中村俊雄　山口
醫學士　小西信雄　廣島

衛生學教室

教授　醫學博士　緒方益雄　東京
講師　醫學士　井上達　兵庫
助手　醫學士　藤間靜　島根

法醫學教室

教授　醫學博士　醫學士　大田原一祥　岡山
助教授　醫學博士　醫學士　遠藤中簡　京都
講師　醫學士　佐伯純一　大阪
助手　醫學士　怡土良三　福岡
助手　醫學士　後藤義貞　香川
助手　醫學士　廣田照輝　山口
副手　醫學士　淺羽武一　岡山
副手　中井良平　福岡
副手　醫學士　大城眞鄕　福岡
副手　吉田稻太郎　福岡
副手　醫學士　上野博　岡山
副手　醫學士　桃井寬次　京都
副手　勝野勝　德島

稻田內科教室

教授　醫學博士　醫學士　藤見忠彥　德島
助教授　醫學博士　醫學士　稻田進　愛知
講師　醫學博士　醫學士　田川蟬太郎　岡山
助手　醫學博士　原勝己　岡山
助手　難波・曠逸　岡山
助手　醫學士　脇本正規　岡山
副手　醫學士　佃毅　香川
副手　醫學士　桑原邦司　廣島
副手　氏平繁　岡山
副手　醫學士　岩井知義　兵庫
副手　醫學士　生山昌敏　山梨
副手　醫學士　蜂谷道彥　岡山
副手　醫學士　吉田和男　岡山

副手　吉本精一　岡山
仝　醫學士　富田廉三　廣島
仝　醫學士　本松明　福岡
仝　醫學士　石原忠之　岡山
仝　桑名省郎　高知
仝　醫學士　熊井孝三　山口
仝　醫學博士　大道直一　大阪
仝　醫學士　淺越嘉威　岡山

柿沼內科教室

教授　醫學博士　柿沼昊作　東京
助教授　醫學博士　北山加一郎　和歌山
講師　須賀廣太　岡山
助手　杉生喜三　岡山
仝　醫學士　宮崎哲　岡山

副手　醫學士　福田豊　和歌山
仝　谷口日出夫　岡山
仝　岡崎武昌　岡山
仝　醫學士　三谷登　岡山
仝　醫學士　齊藤義次　岡山
仝　小津尙　岡山
仝　吉中佳辰夫　廣島
仝　醫學士　藏本積　廣島
仝　醫學士　永山太郎　岡山
仝　醫學士　大塚蕃　岡山
仝　醫學士　友廣忠正　大阪
仝　醫學士　市村丑雄　岡山
仝　本多稔　長崎

泉外科教室

教授　醫學博士　醫學士　伍　朗　山口
助教授　醫學博士　醫學士　榊原　亨　福井
助手　醫學士　山口節郎　和歌山
副手　醫學士　橋本　亨　熊本
全　醫學士　松波賢吾　岐阜
全　醫學士　小田敬進　岡山
全　醫學士　小田源太郎　岡山
全　醫學士　宗盛武雄　廣島
全　醫學士　立花岩吉　岡山
全　志波叙逸　佐賀
全　伊丹正雄　岡山
全　醫學士　杉佐助　高知
全　醫學士　中山一彦　福岡
全　天野保　德島

津田外科教室

教授　醫學博士　醫學士　津田誠次　鹿兒島
講師　醫學士　西山逸平　岡山
助手　醫學士　清水勝　京都
全　醫學士　岩藤良秋　岡山
全　醫學士　菅田士郎　岡山
全　醫學士　菅龍正　廣島
全　醫學士　遠藤正人　鳥取
全　醫學士　濱田英治郎　岡山
副手　醫學士　鈴木富太郎　愛媛
全　

産科婦人科學教室

教授　醫學博士　醫學士　安藤畫一　大分
講師　醫學博士　結城英夫　岡山
助手　醫學博士　熊谷藏之允　山口

助手　全
副手　全
助手　全
助手　全
助手　全
助手　全
助手　全
助手　全
助手　全
助手　全
助手　全
助手　全
助手　全
助手　全

醫學士　藤川良雄　德島
池井柳藏　宮崎
醫學士　正岡旭　廣島
醫學士　北義保　兵庫
醫學士　横山元德　岡山
醫學士　湊次郎　山口
醫學士　金万廉　岡山
田邊文江　岡山
植木雅江　岡山
日下部求　岡山
醫學士　田隅克己　兵庫
長谷川正子　岡山
醫學士　佐藤幹　鳥取
宮島基衛　岡山

皮膚科泌尿器科學教室

教授　醫學博士　醫學士　皆見省吾　石川
講師　醫學博士　醫學士　小池藤太郎　三重
助手　全　醫學士　檜垣律夫　廣島
全　副手　醫學士　村上立男　岡山
全　全　醫學士　佐藤喬　岡山
全　全　醫學士　小川壽　岡山
全　全　醫學士　中西正男　岡山

眼科學教室

教授　醫學博士　醫學士　畑文平　靜岡
教授　醫學士　筒井德光（在外研究中）　三重
助教授　醫學士　松尾義雄　岡山
全　醫學士　進藤眞作　兵庫
助手　全　醫學士　高橋重勝　熊本

副手　醫學士　渡邊武　香川
仝　醫學士　河原省平　岡山

耳鼻咽喉科學教室

教授　醫學博士　醫學士　田中文男　兵庫
助教授　醫學博士　醫學士　小田大吉　鳥取
助手　醫學士　細見英　兵庫
仝　醫學士　松森明　福井
副手　醫學博士　御前慶造　和歌山
仝　醫學士　藤本義治　奈良
仝　醫學士　桑原良一　岡山
仝　醫學士　松浦三郎　兵庫
仝　田中政次　山口
仝　宮本種美　香川
仝　醫學士　馬詰征平　兵庫

副手　醫學士　中村孟　廣島
仝　醫學士　岩永勘一　長崎
仝　醫學士　桑原利勝　大分
仝　醫學士　弘田克平　高知

小兒科學教室

教授　醫學博士　醫學士　好本節　大阪
助教授　武田縫次　岡山
助手　醫學士　伊丹訓吾　岡山
仝　川上義雄　熊本
副手　野上壽夫　岡山
仝　醫學士　栗林太郎　大分
仝　奥村雅延　岡山
仝　今川誠一　香川

精神科學教室

教授　醫學士　林道倫　山形（外國出張中）
助教授　醫學士　大熊泰治　北海道
講師　武野一雄　岡山（在外研究中）
助手　難波良隣　岡山
仝　醫學士　須藤五一郎　高知

レントゲン科

助教授　武田俊光　福岡

⊙附屬醫院

醫院長　教授　醫學博士　醫學士　柿沼昊作　東京
藥局長　藥學士　赤井左一郎　大阪（外國出張中）
藥劑手　芦澤米吉　岡山
仝　妹尾誠太郎　岡山
仝　吉田留次　岡山
仝　岩崎成章　岡山

藥劑手　石橋英一　石川
仝　中野國香　岡山
仝　福田正司　廣島
仝　長谷井美善　岡山
仝　鷹野巖　茨城
調劑手　佐々木修二　大阪
仝　桑田常市　廣島
仝　片岡博夫　岡山
仝　山田浩一　兵庫
仝　守屋五六　岡山
仝　中島章次郎　岡山
仝　中村龍雄　廣島
看護長　秋山幸江　岡山
仝　横見シメ　岡山

看護長　砂田サクヨ　廣島
仝　渡邊志計與　岡山
仝　渡邊ハナ　福島
仝　伊賀龜代　岡山
仝　高木滿代　岡山
仝　河島アキ　山口
仝　高見政惠　岡山
仝　青山貞子　岡山

⊙附屬圖書館

館長　教授　醫學博士　生沼沼曹　石川
司書　遠藤竹秋　岡山
囑託　松田金十郎　岡山

⊙配屬將校

陸軍歩兵大佐　平野助九郎　佐賀

陸軍歩兵大尉　菅村乙彦　山口

⊙岡山醫科大學規則

第一章　學期及休業日

第一條　一年ヲ分チテ左ノ三學期トス

第一學期　四月一日ヨリ九月十日マテ

第二學期　九月十一日ヨリ十二月三十一日マテ

第三學期　一月一日ヨリ三月三十一日マテ

第二條　定期休業日左ノ如シ

春季休業　四月一日ヨリ同七日マテ

夏季休業　七月十一日ヨリ九月十日マテ

冬季休業　十二月二十五日ヨリ翌年一月七日マテ

日曜日

紀元節　二月十一日

春季皇靈祭　春分日

天長節　四月二十九日

秋季皇靈祭　秋分日

神嘗祭　十月十七日

明治節　十一月三日

新嘗祭　十一月二十三日

岡山醫科大學記念日　五月二日

第二章　授業、學科目

第三條　本學ニ於テ授業スル科目及其ノ一週時間數左ノ如シ

但シ敎授上特別ノ必要アルトキハ變更スルコトヲ得

學科目竝ニ一週授業時數配當表

學科目 ＼ 年別	學期	第一年	第二年	第三年	第四年
系統解剖學	一學期	一〇			
	二學期	八			
	三學期	六			
組織學	一學期	五			
	二學期				
	三學期				

	解剖學			生理學		醫化學		細菌學		藥物學			
	解剖學實習	組織學實習竝顯微鏡用法	胎生學	局所解剖學	生理學	生理學實習	醫化學	醫化學實習	細菌學	細菌學實習	藥物學	藥物學實習	處方學	病理總論
一年	二回三時間宛	二回三時間宛	二		六		五							
二年	二回三時間宛	二回三時間宛	二		六		二	二回三時間宛	二		二			四
三年	四回三時間宛			二		二回三時間宛			三	二回三時間宛	四	二回三時間宛		三
四年													一	
五年														
六年														

	病理學			衛生學	法醫學	內科學			外科學				
	病理各論	病理組織學實習	病理標本示說	衛生學	法醫學	診斷學及實習	內科各論及臨牀講義	內科外來患者臨牀講義	外科總論	繃帶實習	外科各論及臨牀講義	外科外來患者臨牀講義	外科手術實習
一年													
二年													
三年	四	二回三時間宛	時々同			二			二				
四年						三			三				
五年			二	二			六	六			六	六	
六年			二	二			六	六			六	六	

產科學婦人科學				皮膚科學				眼科學				耳鼻咽喉科學	
產科學婦人科學	產科學婦人科臨牀講義	產科婦人科外來患者臨牀講義	產科模型演習	皮膚科學	皮膚科學臨牀講義	皮膚病科泌尿器科外來患者臨牀講義	泌尿器科學	眼科學	眼科臨牀講義	眼科外來患者臨牀講義	檢眼鏡實習	耳鼻咽喉科學	耳鼻咽喉科臨牀講義
三				二			一	三				二	
三				二			一	三			△	二	
三			△	二			一	三			△	二	
三	二	△			一	△			一	△			一
	二	△			一	△			一	△			一
	二	△			一	△			一	△			一

耳鼻咽喉科學		小兒科學				精神病學							
耳鼻咽喉科外來患者臨牀講義	耳鼻咽喉科檢查法實習	小兒科學	小兒科臨牀講義	小兒科外來患者臨牀講義	種痘實習	精神病學	精神病學臨牀講義	精神病科外來患者臨牀講義	○醫學史	○醫事法制	○社會醫學	○物理的療法	○比較解剖學
		一											
	△	一										隨	
		二											
△			一	△	△	二		△					
△			一	△		二		△				時	
△			一	△		二		△					

○人類學												
○遺傳學												
○特種講義												
總計	二六	一八 實習六回(一回三時間宛)	二二 實習七回(一回三時間宛)	一九 實習七回(一回三時間宛)	一六 實習四回(一回三時間宛)	七 實習六回(一回三時間宛)	二六	二六	二七	二八	二五	二五

備考 學科中ノ○印ハ隨時トス
△印ハ學生ヲ數組ニ分ツモノトス
特種講義ハ醫學ノ各分科中ノ特種事項若クハ醫學ノ隣接科學中ノ緊要ナル題目ニツキ其專門攻究者ニ依囑シテ開講スルモノトス

第四條 學生ハ解剖學(組織學ヲ含ム)生理學、醫化學、細菌學、病理學及藥物學ヲ學修シタル後ニアラサレハ臨牀講義ニ出席スルコトヲ得ス

第三章 入學、在學、休學、退學、轉學及除籍

第五條 入學ハ第一學期ノ始メニ於テス

第六條 本學ニ入學ヲ許可スヘキモノハ高等學校及學習院ノ高等科ニ於ケル理科卒業者タルヲ要ス

但シ入學志願者ノ數收容豫定數ヲ超過シタルトキハ選拔試驗ヲ行フ

第七條 前條ノ入學志願者ヲ收容シ猶缺員アル場合ニ限リ左ノ資格者ニ限リ記載ノ順位ニ依リ入學セシムルコトアルヘシ
一、帝國大學及官立大學ヲ卒業シタル學士
二、高等學校及學習院ノ高等科文科卒業者
三、大學豫科修了者
四、醫學專門學校醫學科卒業者ニシテ相當ノ學力アリト認メタルモノ
五、本學ニ於テ試驗ヲ行ヒ高等學校高等科ヲ卒ヘタル者ト同等以上ノ學力アリト認メタル者
但シ試驗ハ之ヲ高等學校ニ委託スルコトアルヘシ

第八條 帝國大學醫學部及他ノ醫科大學々生ニシテ本學ニ轉學ヲ望ム者ハ缺員アル場合ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第九條　本學々生ニシテ退學シタル者再ヒ入學ヲ請フトキハ缺員アル場合ニ限リ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條　入學志願者ハ入學願書ニ履歴書、體格檢查證及卒業又ハ修業證明書ヲ添ヘ二月十五日迄ニ學長ニ願出ツヘシ

但シ前項ノ期限後ト雖モ尚ホ缺員アル場合ニ於テハ四月五日迄願書ヲ受理スルコトアルヘシ

第十一條　入學ノ許可ヲ得タル者ハ宣誓ヲナシ學生名簿ニ署名シ戸籍謄本一通ヲ差出スヘシ

入學願書履歷書及身體檢查證用紙ハ本學ヨリ之ヲ交付ス

第十二條　學生疾病其他ノ事故ニヨリ二箇月以上修學ヲ中止セントスルトキハ醫師ノ診斷書若クハ明細ナル理由書ヲ添ヘテ願書ヲ提出シ學長ノ許可ヲ得テ休學スル事ヲ得

第十三條　學生ニシテ陸海軍兵役ニ服スル者ハ其現役又ハ召集中休學ヲ許可ス

第十四條　前二條ニヨル休學者ニシテ休學期間ト雖モ其ノ事故止ム時ハ願ニヨリ復學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十五條　休學ハ兵役ニ服スル場合ヲ除キ一年ヲ超ユルコトヲ得ス

但シ特別ノ事情アル者ニハ更ニ一年以内ノ休學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十六條　學生ニシテ退學セント欲スルモノハ願書ヲ差出シ學長ノ許可ヲ受クヘシ

第十七條　學生ニシテ他ノ大學ニ轉學セント欲スル者ハ其ノ理由ヲ詳記シ學長ニ願ヒ出ツヘシ其ノ許否ハ兩學間ノ協定ニ依ル轉學ヲ許可セラレタルモノハ除籍ス

第十八條　在學八年ニ及ヒテ猶卒業セサル者ハ除籍ス

休學期間ハ之ヲ算入セス

在學期間ニハ他ノ醫科大學ニ於ケル在學年限ヲ通算スルモノトス

第十九條　前條ノ期間内ト雖モ疾病其ノ他ノ事故ニヨリ成業ノ見込

ナシト認メタルトキハ退學ヲ命スルコトアルヘシ

第四章　試驗及卒業

第二十條　大學令第十條ニヨル試驗ハ學生ノ申請ニ依リ次ノ學科ニ就キ之ヲ施行ス

解剖學（組織學ヲ含ム）
生理學
醫化學
細菌學
病理學
藥物學
內科學
外科學
產科婦人科學
眼科學

精神病學
小兒科學
皮膚科泌尿器科學
耳鼻咽喉科學
衛生學
法醫學

第二十一條　學生ハ各科目ニ付規定ノ期間聽講及實習ヲ修了シタル者ニアラサレハ試驗ヲ申請スルコトヲ得ス

第二十二條　解剖學（組織學ヲ含ム）生理學、醫化學、細菌學、病理學及藥物學ノ試驗ニ合格シタル者ニアラサレハ爾餘ノ試驗ヲ受クルコトヲ得ス

第二十三條　試驗ハ學期ノ終リニ施行シ其ノ期日ハ二週間前ニ之ヲ揭示ス

但シ時宜ニヨリ學期中ニ於テ行フコトアルヘシ

第二十四條　受驗ノ申請ハ試驗期日ノ掲示後一週間以内トス

第二十五條　試驗ハ其ノ學科擔任ノ教官之ヲ施行ス

擔任教官事故アル時ハ他ノ教官之ヲ施行スルコトアルヘシ

第二十六條　病氣其ノ他ノ止ムヲ得サル事故ニヨリ試驗ニ出席スルコト能ハサル者ハ醫師ノ診斷書若クハ其ノ理由書ヲ添付シ試驗前日迄ニ之ヲ學長ニ届出ツヘシ

第二十七條　前條ノ事由ニヨリ全部若クハ一部ノ試驗ヲ受クルコト能ハサル者ハ教授會ノ議ヲ經テ追試驗ヲ行フコトヲ得

第二十八條　第二十六條ノ手續ヲ履行セスシテ試驗期日ニ出席セサルモノニハ前條ヲ適用セス

第二十九條　試驗ノ成績ハ合格不合格ノ二トス

第三十條　或學科ノ試驗ニ於テ不合格ノ成績ヲ得タル者ハ同一學期ニ於テ再ヒ受驗スルコトヲ得ス

第三十一條　四年以上在學シ規定ノ全受驗科目ニ合格シタル者ヲ卒業者トシ之ニ卒業證書ヲ授與ス

第三十二條　前條ノ卒業者ハ醫學士ノ稱號ヲ用フルコトヲ得

第五章　試驗手數料、入學料及授業料

第三十三條　第六條但書第七條第五項ニヨリ試驗ヲ受クル者ハ試驗手數料トシテ豫メ金拾圓ヲ納付スヘシ

第三十四條　入學ヲ許可セラレタル者ハ入學料トシテ金拾圓ヲ納付スヘシ

第八條ニヨリ轉學ヲ許可セラレタル者及第九條ニヨリ再ヒ入學ヲ許可セラレタル者モ前項ニ準ス

第三十五條　授業料ハ一箇年百貳拾圓トシ第一學期金四拾圓第二學期金四拾圓第三學期金四拾圓ニ分納セシム

但シ昭和四年三月三十一日以前ノ入學者ハ舊規程ニ依ル

納期ハ別ニ之ヲ定ム

第三十六條　轉學シ退學シ除籍セラレタル者又ハ退學ヲ命セラレタ

ル者ニモ其ノ學期ノ授業料ハ之ヲ徴收ス

停學ニ處セラレタル者ニハ停學中ト雖モ授業料ヲ徴收ス

第三十七條　一期ヲ通シテ休學ヲ許可セラレタル者ニハ其ノ期ノ授業料ヲ徴收セス

但シ休學者ニシテ中途復學シタルトキハ其ノ學期ヨリ之ヲ徴收ス

第三十八條　既納ノ料金ハ如何ナル理由アルモ之ヲ返付セス

第三十九條　授業料納付ノ義務ヲ怠リタルトキハ講義實習ニ出席シ又ハ圖書ヲ閲覽スルコトヲ禁止シ其ノ情狀重キ者ハ之ヲ除籍ス

第六章　服裝

第四十條　學生ハ本學所定ノ制服及制帽ヲ着用スヘシ

第七章　懲戒

第四十一條　學生ニシテ本分ニ悖リタル行爲アル場合ニハ學長ハ教授會ノ意見ヲ徴シ之ヲ懲戒ニ處ス

一、戒飭
二、停學
三、放學

第八章　外國學生

第四十二條　外國人ニシテ本學ニ入學セントスル者アルトキハ明治三十四年文部省令第十五號ノ定ムル所ニヨリ之ヲ許可ス

第四十三條　外國學生ニシテ本學所定ノ試驗ニ合格シタル者ニハ本人ノ願ニ依リ學力ヲ檢定シ高等學校高等科卒業ト同等以上ト認メタルトキハ卒業證書ヲ授與スルコトヲ得

第四十四條　外國學生ニシテ高等學校高等科卒業程度ノ試驗ニ合格シタル者ハ普通學生トシテ入學ヲ許可ス

第四十五條　外國學生ニハ本學々生ニ關スル規程ヲ準用ス

第九章　專攻生

第四十六條　本學授業擔任者ノ指導ヲ受ケ特ニ專門學科ニ就キ研究

セントスル者ハ專攻生トシテ入學ヲ許可ス

第四十七條　專攻生タラント欲スル者ハ願書ニ履歷書及卒業證書寫ヲ添ヘ指導者ヲ經テ願出ツヘシ

第四十八條　專攻生タルコトヲ得ル者ハ左記ノ一ニ該當スルコトヲ要ス

一、大學卒業者

一、醫學專門學校卒業者

一、授業擔任者ニ於テ適當ノ學力アリト認メタル者

第四十九條　專攻期間ハ二箇年以內トス

但シ時宜ニヨリテハ延期ヲ許可スルコトアルヘシ

第五十條　專攻生ニハ願ニヨリ其ノ研究科目ニ付證明書ヲ附與ス

第五十一條　專攻生タルコトヲ許可セラレタル者ハ金拾圓ヲ納付スヘシ

第五十二條　研究費ハ敎室ノ設備ニ附帶スルモノヽ外總テ專攻生ノ負擔トス

但シ時宜ニヨリテハ特ニ研究材料ヲ給與スルコトアルヘシ

附　則

第五十三條　本規程ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

◉岡山醫科大學研究科規程

第一條　本學卒業者ニシテ研究科ニ入ラント欲スル者ハ其ノ研究事項ヲ具シ學長ニ願出ツヘシ學長ハ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可ス

第二條　本學卒業者ニアラサル者ニシテ研究科ニ入ラント欲スル者ハ研究事項ヲ具シ學業履歷書ヲ添ヘテ願出ツヘシ學長ハ教授會ノ議ヲ經テ之ヲ許可ス

但シ時宜ニヨリテハ其ノ學力ヲ檢定スルコトアルヘシ

檢定ヲ受クル者ハ入學檢定料金貳拾圓ヲ前納スヘシ

既納ノ料金ハ如何ナル事由アルモ之ヲ返付セス

第三條　研究科學生ノ指導ハ學長ノ選定シタル教官之ヲ擔任ス

第四條　研究科學生ノ在學期間ハ二箇年トス

研究ノ必要ニ依リ引續キ在學セント欲スル者ハ當該教官ヲ經テ學

長ニ願出ツヘシ學長ハ教授會ノ議ヲ經テ一箇年毎ニ之ヲ許可ス

第五條　研究科學生在學中ハ學長ノ許可ヲ得ルニアラサレハ他ノ業務ニ從事スルコトヲ得ス

第六條　研究科學生ハ指導教官及擔任教官ノ承認ヲ得テ本學ノ講義實習及實驗等ニ出席スルコトヲ得

第七條　研究科學生ハ研究科トシテ一箇年毎ニ金五拾圓ヲ前納スヘシ

研究科學生ニシテ兵役ニ服スルモノニハ其ノ服役中研究料ヲ免除ス

但シ中途退學又ハ兵役服務中モ既納ノ料金ハ之ヲ返付セス

第八條　研究科學生ニシテ學術研究旅行ヲ要スルトキハ教授會ノ議ヲ經テ旅費日當ヲ補給スルコトアルヘシ

第九條　研究科學生ハ在學滿期ニ至ルトキハ其ノ研究成績ヲ指導教官ヲ經テ學長ニ報告スヘシ

第十條　研究科學生ニシテ學位ヲ得ント欲スル者ハ在學二年以上ヲ經タル後其ノ研究事項ニ就キ論文ヲ學長ニ提出スヘシ學位ヲ請求セサルモ相當ノ研究ヲ爲シタリト認ムル者ニハ學長ハ證明書ヲ附與スルコトアルヘシ

第十一條　研究科學生ニシテ教授會ニ於テ研究ノ實ナシト認メラレタルトキハ學長ハ之ニ退學ヲ命ス

第十二條　研究科學生ハ本規程ノ外總テ本學ノ學則ニ從フモノトス

第十三條　研究科學生中學力優秀志操堅實ナル者ハ特選給費學生トナシ學資ヲ給與スルコトアルヘシ

第十四條　特選給費學生ノ學資ハ一人月額金七拾五圓以内トシ二年間之ヲ給ス

但シ必要アルトキハ教授會ノ議ヲ經テ更ニ期間ヲ定メテ之ヲ繼續スルコトヲ得

特選給費生ニハ研究料ヲ徴收セス

第十五條　特選給費生ニシテ其ノ資格ニ缺クル者アルトキハ教授會ノ議ヲ經テ學長之ヲ免ス

附　則

第十六條　本規程ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

⊙岡山醫科大學副手規程

第一條　岡山醫科大學ニ副手ヲ置ク無給トス
　但シ時宜ニヨリテハ有給ト爲スコトアルヘシ
第二條　副手ハ研究科學生、學士若クハ學士ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノニ限リ學長之ヲ囑託ス
第三條　副手ハ教授及助教授ノ指揮ヲ承ケ學術又ハ診療ニ關スル職務ニ服ス

附　則

第四條　本規程ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

⊙岡山醫科大學附屬醫院規程

第一條　附屬醫院ハ醫學ノ教授及研究ノ目的ヲ以テ患者ノ診療ヲナス所トス
第二條　患者ヲ分チテ入院患者及外來患者ノ二種トス
第三條　入院患者ハ官費及私費トス
　但シ私費ヲ以テ治療ヲ受ケント欲スル者モ其ノ病症ニヨリテハ之ヲ許可セサルコトアルヘシ
第四條　外來患者ハ官費及私費トス
　但シ官費患者ノ種類及數ハ時宜ニヨリ之ヲ定ム
第五條　本規定施行ニ關スル細目ハ學長之ヲ定ム

附　則

第六條　本規程ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

⊙岡山醫科大學附屬醫院産婆看護婦養成科規則

第一條　岡山醫科大學附屬醫院ニ産婆看護婦養成科ヲ置ク

第二條　本科ハ産婆看護婦ニ必要ナル學科技藝ヲ教授スルモノトス

第三條　修業年限ハ二箇年トシ一年ヲ三學期ニ分ツ

第四條　授業科目左ノ如シ

一、修身
一、衛生法規
一、物理化學大意
一、解剖學
一、生理學
一、衛生學
一、藥物學
一、調劑學
一、藥品取扱法

一、一般看護法
附　死後ノ處置
一、内科看護法
附　治療介補傳染病看護法
一、外科看護法及繃帶學
一、産科婦人科看護法
一、皮膚科泌尿器科看護法
一、眼科看護法
一、耳鼻咽喉科看護法
一、小兒科看護法及初生兒疾病ノ大意
一、精神科看護法
一、産婆學
一、救急療法及患者運搬法
一、防腐法制腐法消毒法及醫療器械ノ大意
一、國語
一、作文

一、外　國　語
一、家　事
一、裁　縫
一、體　操
一、音　樂

第五條　生徒ハ實習ノ爲メ本院内ニ勤務スルモノトス

第六條　休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

日曜日、大祭祝日、地久節、夏季休業(八月一日ヨリ同月三十一日迄)冬季休業(十二月二十五日ヨリ翌年一月七日迄)

第七條　生徒ノ入學期ヲ毎年四月トス

第八條　入學ヲ許可スヘキモノハ左記各號ノ資格ヲ有スル女子ニシテ入學試驗ニ合格シタルモノニ限ル

一、品行端正身體健全ナルモノ

一、年齡滿十五年以下ニシテ配遇者ナク且家事ニ係累ナ

キモノ

一、高等小學校ヲ卒業シタルモノ若ハ之ト同等以上ノ學力ヲ有スルモノ

第九條　生徒ハ之ヲ給費トシ月手當前學年間ハ金拾五圓後學年間ハ金拾八圓ヲ支給シ且作業服ヲ貸與シ院内ニ宿泊セシム

但シ食費及所用文具、書籍、寢具等ハ自辨トス

第十條　入學志願者ハ第一號書式ニ依リ願書ヲ差出スヘシ

第十一條　入學試驗ハ左ノ科目ニ就キ高等小學校卒業程度ニ依リ之ヲ行フ

一、讀　方　　二、作　文　　三、算　術

第十二條　生徒入學ノ許可ヲ得タルトキハ第二號書式ニ依リ誓約書ヲ提出スヘシ

保證人ハ男子ニシテ身元確實ナル成年以上ノ戶主二人トシ内一名ハ岡山市内若ハ附近町村ニ居住スルモノタルヘシ

第十三條　生徒ハ總テ醫院ノ規則ヲ遵守シ上長ノ指揮ニ從フヘシ

第十四條　試驗ハ進級卒業ノ二種トシ第一學年ノ終リニ進級試驗ヲ第二學年ノ終リニ卒業試驗ヲ行ヒ之ニ合格シタルモノニハ第三號書式ノ卒業證書ヲ授與ス

第十五條　試驗ノ成績ハ各科目百點ヲ以テ最高點トシ一科目四十點以上平均六十點以上ヲ以テ及第トス

第十六條　生徒ニシテ成業ノ見込ナキモノ又ハ不都合ノ行爲アルモノニハ退學ヲ命ス

第十七條　生徒ニシテ中途退學ヲナスモノ若ハ退學ヲ命セラレタルモノ又ハ卒業後第十八條ノ義務ヲ盡サヽル者ハ其ノ情狀ニ依リ在學中支給シタル學資ノ全部又ハ其ノ幾分ヲ償還セシムルコトアルヘシ

第十八條　生徒ハ卒業ノ日ヨリ滿二箇年間本院ノ看護婦トシテ勤務スル義務アルモノトス

但シ勤務中ハ成規ノ給料ヲ支給ス

附　則

第十九條　昭和三年三月以前ニ入學シタル生徒ニ對シテハ前條ヲ適用セス

前項生徒ハ卒業ノ日ヨリ滿一箇年間本院ノ看護婦トシテ勤務スル義務アルモノトス

但　勤務中ハ成規ノ給料ヲ支給ス

第一號書式

入學願

私儀貴院産婆看護婦生徒志願ニ付御試驗ノ上入學御許可被成下度履歷書及戸籍謄本相添へ此段相願候也

本籍
現住所
族籍　戸主又ハ誰何女

年　月　日

本人ハ身元確實ナル者ニ相違無之仍テ保證候也

本籍
現住所
族籍　職業

保證人　何　某印

本人　何　某印

岡山醫科大學附屬醫院長　何某殿

履歷書

學業

一、何年何月何日何學校ニ入リ何年何月何日ヨリ何某ニ就キ何學修業
一、何年何月何日何學校ニ入リ何年何月何日卒業

業務

一、何年何月何日何業ニ就キ月俸又ハ日給何程
一、何年何月何日何々ニ依リ依願免職等
一、何年何月何日何々ノ故ヲ以テ受賞

右ノ通相違無之候也

年　月　日

右

何　某印

何　某
年月日生

第二號書式

誓約書

今般貴院産婆看護婦生徒ニ御採用相成候ニ就テハ御規則堅ク相守ルヘキハ勿論在學中某一身上ニ係ル事件ハ保證人兩名ニ於テ一切措辨致且萬一在學中ノ學資辨償ヲ命セラルル場合連帶ヲ以テ其ノ義務ヲ果スヘク仍テ誓約候也

本籍
現住所
族籍　戸主又ハ誰何女

年月日

本籍
現住所
族籍　職業
本人　何　某印

保證人　何　某印

第三號書式

卒業證書

族籍
本籍
現住所
族籍　職業
保證人　何　某印

岡山醫科大學附屬醫院長何某殿

何　某
年月日生

右ハ本院所定ノ産婆學看護學ヲ修メ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス

年　月　日

岡山醫科大學附屬醫院長官位勳爵氏　名印

◉附屬圖書館

⊙岡山醫科大學附屬圖書館規程（大正十一年四月一日）

第一條　圖書館ハ本學所屬ノ圖書ヲ處理シ又ハ本學ニ委託セラレタル圖書ヲ保管スル所トス

第二條　圖書館ニ閱覽室ヲ設ケ各科共用ノ圖書其ノ他ヲ陳列シ閱覽ニ供ス

第三條　本學各教室ニ於テ備付ヲ要スル圖書ハ該教室主任教授之ヲ管理ス

第四條　圖書ヲ借受ケテ携出シ得ルモノハ本學職員、研究科學生及專攻生ニ限ル但シ借受册數ハ壹名拾册ヲ超過スルコトヲ得ス

借用者轉職又ハ退職ノ際ハ直ニ其ノ圖書ヲ返納スヘシ

第五條　圖書ヲ借受ケ携出セントト欲スル者ハ所定ノ用紙ニ所要ノ記

入ヲナシ之ヲ係員ニ提出スヘシ

本學各教授保管ノ圖書ニ就キテモ亦同シ

第六條　圖書貸出期間ハ二十日以内トス

第七條　貸出圖書ハ期間内ト雖モ毎年七月一日ヨリ十日迄ニ一旦返納スヘシ但シ必要アルトキハ臨時返戻ヲ要求スルコトアルヘシ

第八條　閲覽室ニ於テ圖書ヲ閲覽セント欲スル者ハ借覽票ニ記入シテ係員ニ提出シ閲覽終リタルトキハ直ニ之ヲ返付スヘシ

閲覽時限ハ隨時之ヲ掲示ス

第九條　本學職員及學生以外ノ篤志研究者ニシテ圖書ノ閲覽ヲ請フ者アルトキハ圖書館長ニ於テ許可ヲ與フルコトアルヘシ但シ閲覽手續ハ前條ニ依ル

第十條　圖書閲覽者ハ本規程ヲ遵守シ又ハ室内ニ於ケル掲示事項及係員ノ指揮ニ從フヘシ

第十一條　諸官廳、學校又ハ本學職員以外ノ者ヨリ圖書借受ノ照會ア

ル際ハ圖書館長ハ館内ノ圖書ニ限リ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ許可ス但シ其ノ際所要ノ圖書及借用期間(二十日以内)ヲ記入セル借用證書ヲ事務室ニ提出スヘシ

第十二條　閲覽者又ハ借用者ニシテ其ノ圖書ヲ紛失毀損又ハ汚染シタルトキハ同一圖書ヲ以テ辨償セシム但シ時宜ニヨリテハ代金ヲ以テ之ヲ辨償セシメ或ハ修繕費ヲ負擔セシムルコトアルヘシ

第十三條　本學各教室ニ保管セル圖書ヲ紛失毀損又ハ汚染シタル場合ハ保管者ヨリ始末書ヲ提出スヘシ而シテ其ノ事由ニヨリテハ前條ヲ適用スルコトアルヘシ

附　則

第十四條　本規程ハ大正十一年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

◉岡山醫科大學奬學資金規程

第一條　本學々生及本學ニ於テ研究ニ從事スル者ニ對シテ奬學ノ爲メニ資金ヲ寄附セントスル者アルトキハ之ヲ許容スルコトアルヘシ

奬學資金ニハ寄附者ノ名義ヲ附スルコトヲ得

第二條　寄附者ハ其ノ資金ニ對シ一定ノ條件ヲ附スルコトヲ得

第三條　寄附者ニ於テ一定ノ指定ヲ爲サヽルトキハ敎授會ノ議ヲ經テ學長之カ支辨ノ途ヲ定ム

第四條　貸費及給費等ニ關スル細目ハ別ニ之ヲ定ム

奬學資金

寄附者氏名	寄附年月日	寄附金額	目的
菅忠芳	大正四年六月十七日	四分利公債證書額面二千三百圓	利子ヲ本學學生奬學ノ資ニ充ツルモノトス
上坂熊勝	大正十五年十一月三十日	五分利公債證書額面二千圓	利子ヲ解剖學研究ノ資ニ充ツルモノトス

⊙學生

卒業受驗生

市丸謙介福岡　根岸五郎岡山

第四學年　昭和二年入學

生熊良文和歌山　生田靜也岡山　石田憲吾廣島　橋本清岡山
原田忠岡山　細川成人廣島　飛谷忠弘香川　大森誠岡山
大杉眞造岡山　岡崎衞生山口　岡村隆良鳥取　川島有季德島
川崎祐宣鹿兒島　川口敦夫廣島　勝山薫岡山　金岡英雄岡山
吉浦悟福岡　吉宗泰次大阪　田淵義三郎岡山　田岡在久德島
高畠護岡山　高原滋夫岡山　孝橋周德兵庫　玉尾延忠香川
鶴見孝雄香川　露野包夫岡山　中尾源造島根　中尾與一郎山口
中島達二岡山　黑田章夫岡山　山崎三省廣島　山崎喜三郎岡山
山田貞邦岡山　山田一良山口　矢島壽長崎　松元健二岡山
松岡三八一熊本　丸山正熊熊本　小坂壽岡山　菰口武夫岡山
國土克己香川　遠藤修一岡山　寺島富彥京都　明石新藏愛媛
佐藤靜馬岡山　齊藤晴雄島根　酒井美雄兵庫　佐々木才一郎三重
喜多島愼一岡山　敎山照輝岡山　三宅愼治香川　三瀨忠與愛媛
宮島忠香川　箕越中廣島　光永弘文岡山　水野弘義廣島

廣本達吉廣島　守屋暗夫岡山　須藤吾之助高知　鈴江榮德島

第三學年　昭和三年入學

岩崎武兵庫　岩佐鑛藏愛媛　井上雄吾廣島　井爪昌和和歌山
家永實兵庫　家城博泉宮山　板野坂惠岡山　今屋一誠滋賀
石島達滋賀　伊藤正道島根　伊崎宣行廣島　服部三樹三重
羽田謙仁山形　橋本健兵庫　新田司郎廣島　大西晃高知
大野勤次郎廣島　大谷憲吉鳥取　岡宏香川　岡本重雄大阪
岡崎哲岡山　金津晴亮島根　金井英藏兵庫　金光近夫岡山
河村謙一岐阜　河野通郷香川　龜井俊夫廣島　嘉悅新一大阪
兼田三郎青森　来坂彌和歌山　横山猛重高知　田邊公彬大分
田中剛岡山　高野惠廣島　橋捷夫岡山　伊達富久岡山
中内胤雄高知　中田富士男岡山　中尾親章鹿兒島　鍋島清志廣島
内藤達雄岡山　内橋禮次兵庫　久保四郎高知　久山正策岡山
藏本養三廣島　柳田秀一京都　山本英雄愛媛　安田健次郎兵庫
松山加壽雄靜岡　藤田敬吉廣島　藤野博儀神奈川　福田正男三重
福井朋安大阪　小關二郎千葉　小坂昭男岡山　江口重郎佐賀
赤木章岡山　木屋正文三重　木下武男大阪　北垣忠男兵庫
三井義亮香川　望月章次山梨　森岡清三郎高知　關谷重幸岐阜
杉本徹岡山　菅沼博長野　須磨修一兵庫

石川昂香川　石川研二廣島　井上正之福岡　西村正治和歌山
西川規夫兵庫　外山孝二愛知　友保誠岡山　大島捷六石川
大林義彦廣島　大見良秀愛知　小田醇太郎鳥取　岡崎春雄廣島
尾崎嚴衛岡山　和田直京都　川本桂一郎奈良　河野圭之大分
吉田三郎山形　田中守義岐阜　筒井安雄和歌山　難波武夫岡山
內藤豐福井　上村良一山口　上塚萬壽雄大阪　內山宗一兵庫
鵜飼昌雄愛知　野崎澄治岡山　倉內勇吉大阪　谷裕長崎山口
山谷幹雄岡山　眞喜屋實亨沖繩　松島春海和歌山　小泉三郎廣島
後藤脩吉岡山　寺島和周香川　安達龍夫香川　安里昌由沖繩
安藤貢香川　明石愛爾岡山　赤松金四郎廣島　淺沼清志岡山
齊木豐山口　齊藤了岡山　坂本賢三長野　坂中只一京都
榊原涉愛知　佐々木貞夫島根　木口浩三岡山　美田隆紀兵庫
三好桂一郎山口　宮木輝夫岡山　水田隆之岡山　志茂正規岡山
高橋齊山口　平田善夫宮崎　森五男岡山　森正久廣島
森加博廣島　守屋誠岡山　石天之楓台灣　關寅太郎長野
杉山俊之福岡

第二學年　昭和四年入學

第一學年　昭和五年入學

石原貫一岡山　石原次文岡山　石原德春岡山　伊藤誠爾岐阜

伊藤巖三重　西井弘之岡山　西村定重兵庫　堀正澄京都
登坂清山口　沼本源次郎岡山　大道峰雄大阪　大上亨和歌山
奥雅之兵庫　岡部政之廣島　織田元一郎大分　渡邊翠廣島
勝山榮岡山　川北良水高知　吉野啓三島根　吉岡堅二岡山
芳野俊五東京　高橋勳廣島　高原章夫岡山　高島三郎岡山
武内暢高知　竹内榮次郎愛媛　谷正男岡山　田村勇兵庫
大門周治大阪　中村眞太郎岡山　中村德三郎德島　中村熊三岡山
難波政士岡山　長野曠岡山　鳴海岩雄青森　野間安則愛媛
久山謹一岡山　久保一正香川　山口茂樹岡山　山本幹爾岡山
安井正俊愛媛　安岡準三高知　松本孝雄岡山　松森哲夫廣島
前田哲夫岡山　福原尙文兵庫　藤井敏夫山口　黄媽福台灣
青木潤次岡山　有松龍一岡山　粟屋一歩廣島　安藤秀夫三重
佐藤信也岡山　佐藤達雄岡山　佐藤直泰岡山　佐藤義信山口
佐々木英雄鳥取　齊藤實岡山　坂本實三和歌山　榊原秀夫神奈川
笹田金一岡山　木村敏三岡山　宮地重樹廣島　新宅哲夫廣島
澁谷三郎高知　平木潔岡山　平田普山口　久富英男大阪
日淺靜逸愛媛　菱木高司千葉　杉山五郎岡山

研究科學生

星島靜夫岡山　内田了神奈川　永山太郎岡山　上住定岡山

佐藤秋夫岡山　伊藤一生長崎　安原功岡山

專攻生

富岡敏哉佐賀　重信琢雄廣島　西崎武亥一岡山　岡順二和歌山
佐藤政夫岡山　我部政光沖繩　村山五瀨男岡山　多久愛次郎佐賀
前田圭三兵庫　安樂傳壽鹿兒島　津田稔岡山　西尾修五郎大阪
伊原重彥岡山　箭田繁福香川　伊藤駒夫大分　小川愛輔山口
赤松圓岡山　田邊郁郎岡山　田中達福岡　藤田靖愛媛
園部和男岡山　小林平吉岡山　新藤輝雄山口　原田要一岡山
得能倫二石川　濱田友次郎廣島　藤原角一岡山　吉田千束長崎
丸山忍新潟　岡島壽大分　鎌倉令三香川　綱島義人岡山
吉田豊太岡山　東三郎鹿兒島　根岸顯藏長野　寺尾尙文岡山
未岡悟山口　平井重次郎岡山　柳榮福岡　岡村舜三岡山
日下連岡山　八木忠亮兵庫　本多稔長崎　前川鼎岡山
内田茂雄山口　本城定男岡山　岡崎卓一岡山　河田豊岡山
陶守三思郎岡山　安原節太郎兵庫　大庭九一郎福岡　近森茂明宮城
小林章二廣島　山口龍契岡山　柏木俊二兵庫　伊藤梃京都
越知シゲル愛媛　宇野善一岡山　赤堀淳太郎岡山　香川卓二廣島
福武敏重岡山　城義彰山口　中富和夫德島　前田幹照香川
秋本運晄岡山　藤原寛治兵庫　三村保岡山　田村眞一郎山口

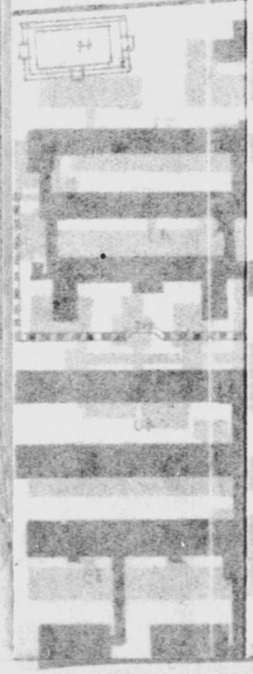
學生道府縣別表

道府縣	人員
東京府	一
京都府	五
大阪府	一〇
神奈川縣	二
兵庫縣	一七
長崎縣	二
千葉縣	二
奈良縣	一
三重縣	六
愛知縣	四
靜岡縣	一
山梨縣	一
滋賀縣	二
岐阜縣	四

松浦　堯　兵庫　深瀨隆彥　岡山
山田金吾　德島　藥師寺忠志　岡山
清水　伸　岡山　池田正夫　岡山
林　昇　岡山　大西義衛　香川
森　信胤　岡山　田中屋清人　山口
荒田一郎　山口　杉本信義　岡山
山井上一雄　兵庫　井上留雄　岡山
深井昇平　岡山　河本謹一郎　鳥取
海野仁造　岡山　美木俊雄　岡山
木村敏太　岡山

道府縣	人員
長野縣	三
青森縣	二
山形縣	二
福井縣	一
石川縣	一
富山縣	一
鳥取縣	五
島根縣	六
岡山縣	八〇
廣島縣	三〇
山口縣	一一
和歌山縣	七
德島縣	四
香川縣	一四
愛媛縣	八
高知縣	一〇
福岡縣	三
佐賀縣	一
大分縣	三
熊本縣	二
宮崎縣	一
鹿兒島縣	二
沖繩縣	二
台灣	二
計	二五九

大 幹

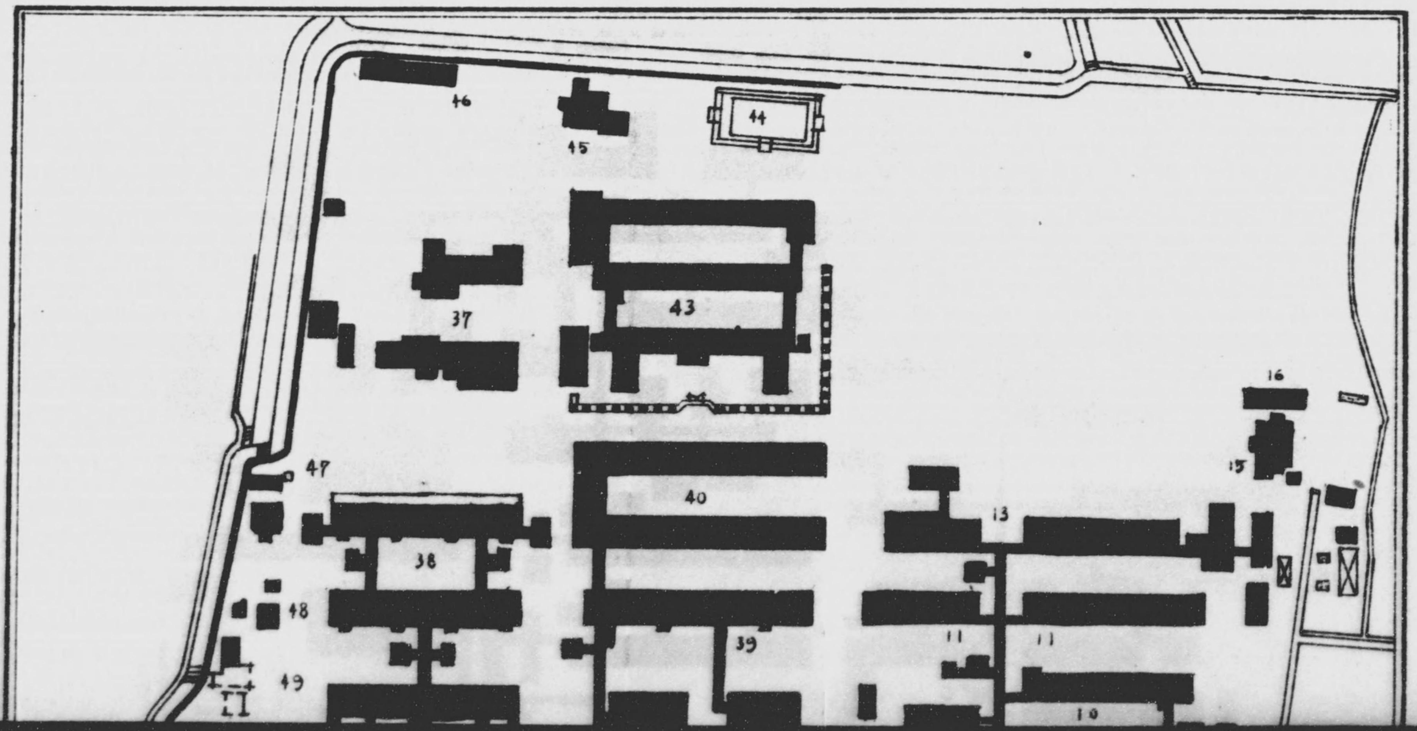


岡山醫科大學平面圖

昭和五年十二月一日現在

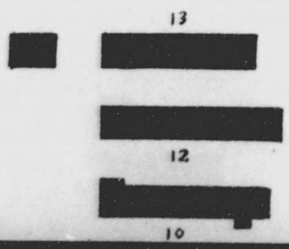
地坪　四萬五百六拾坪貳合六勺

現在建物延坪　壹萬四千六百參拾貳坪壹合參勺八才



建物
射的塲
淨化障置
土圍疊
架裝橋
周圍ノ圍障コンクリート造

縮尺　二千四百分ノ一

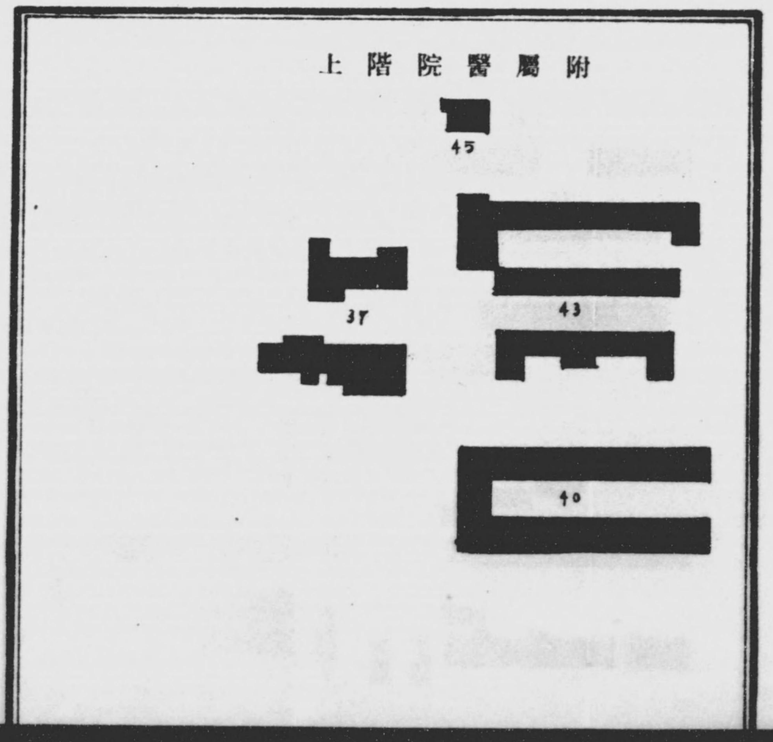


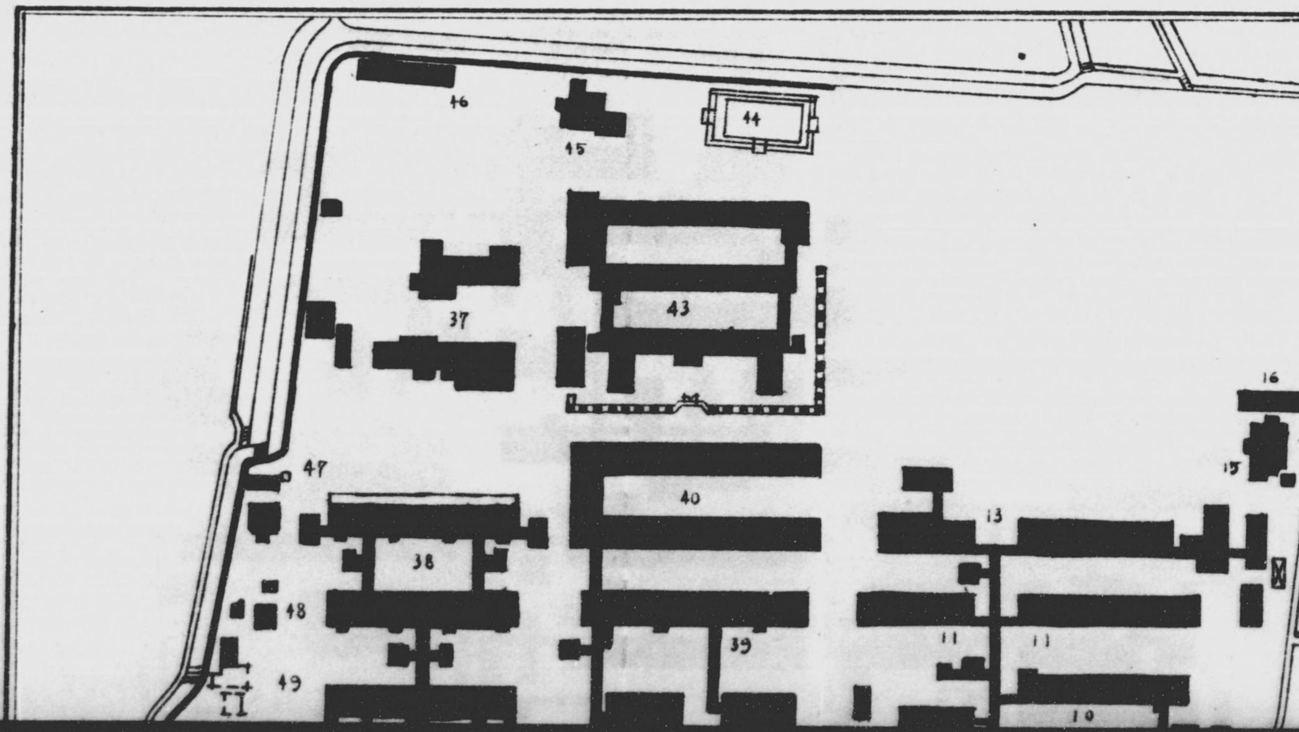
岡山醫科大學平面圖

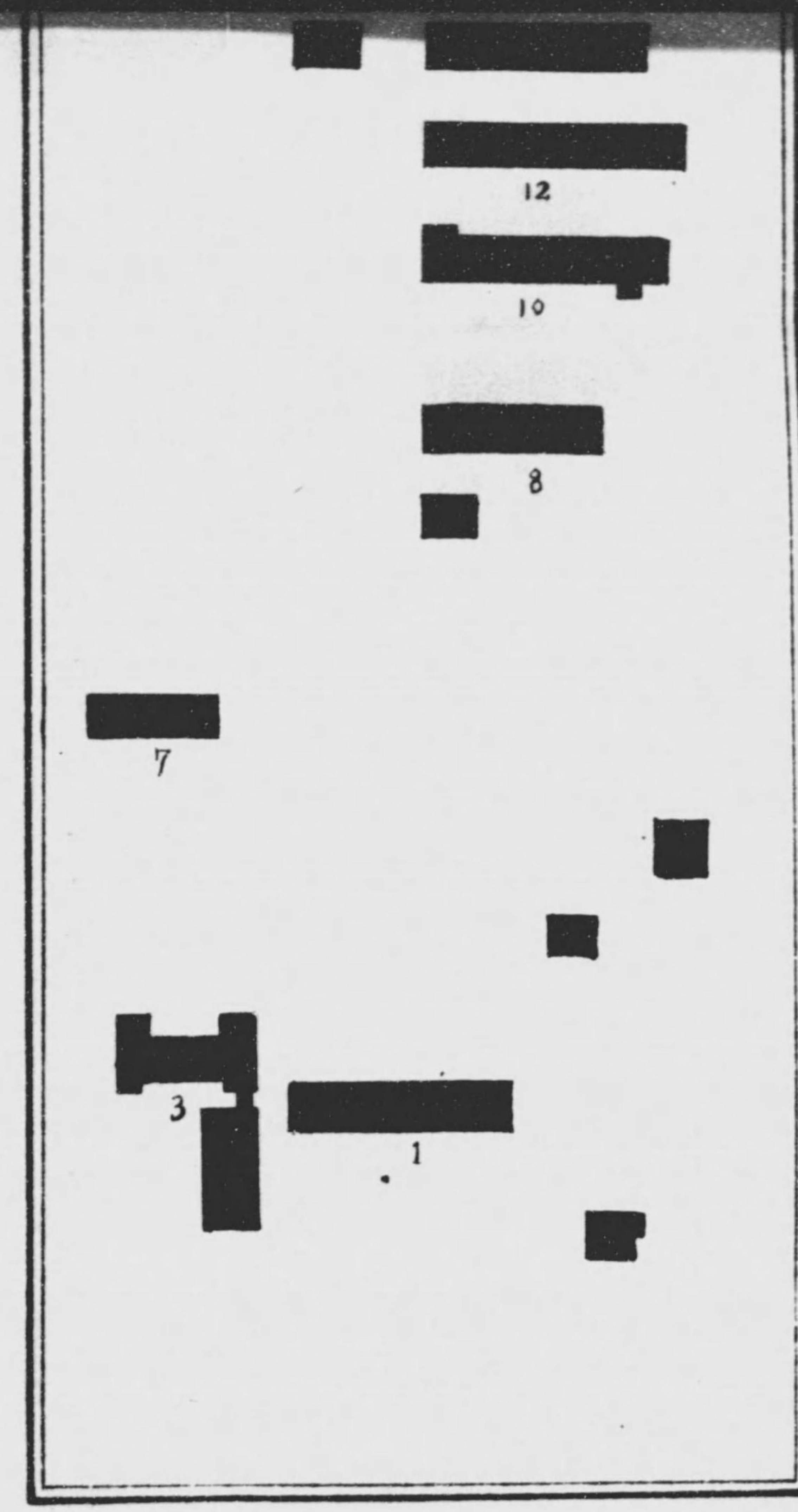
昭和五年十二月一日現在

地坪　四萬五百六拾貳坪六合六勺

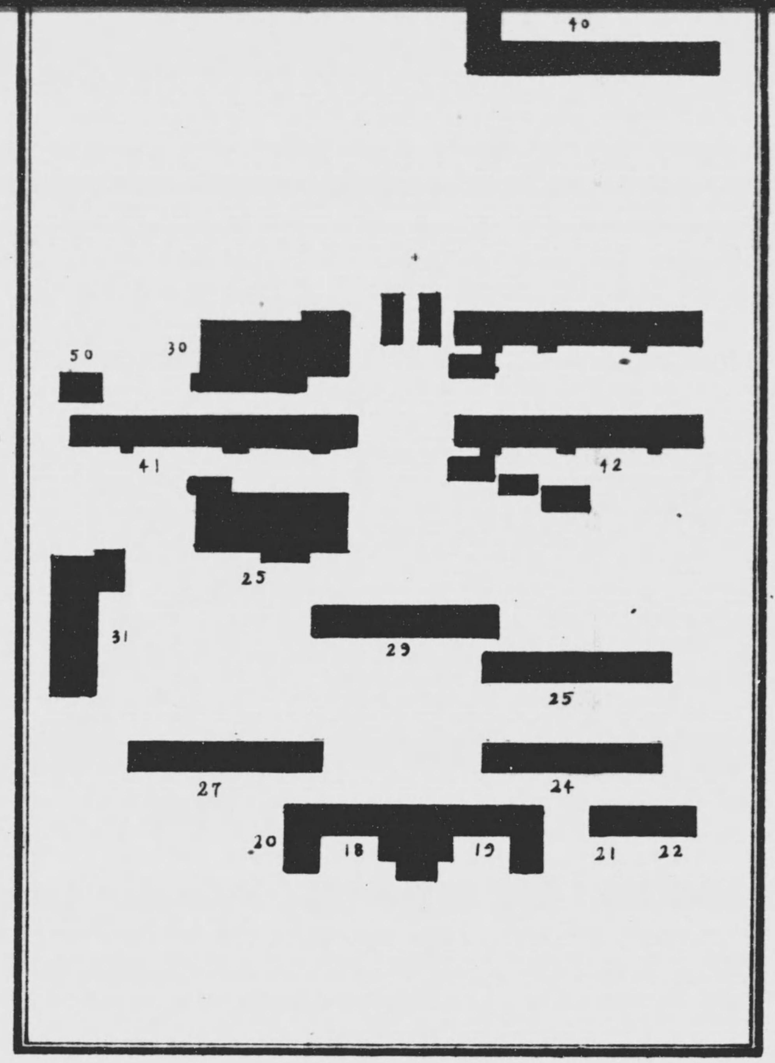
現在建物延坪　壹萬四千六百參拾貳坪壹合參勺八才

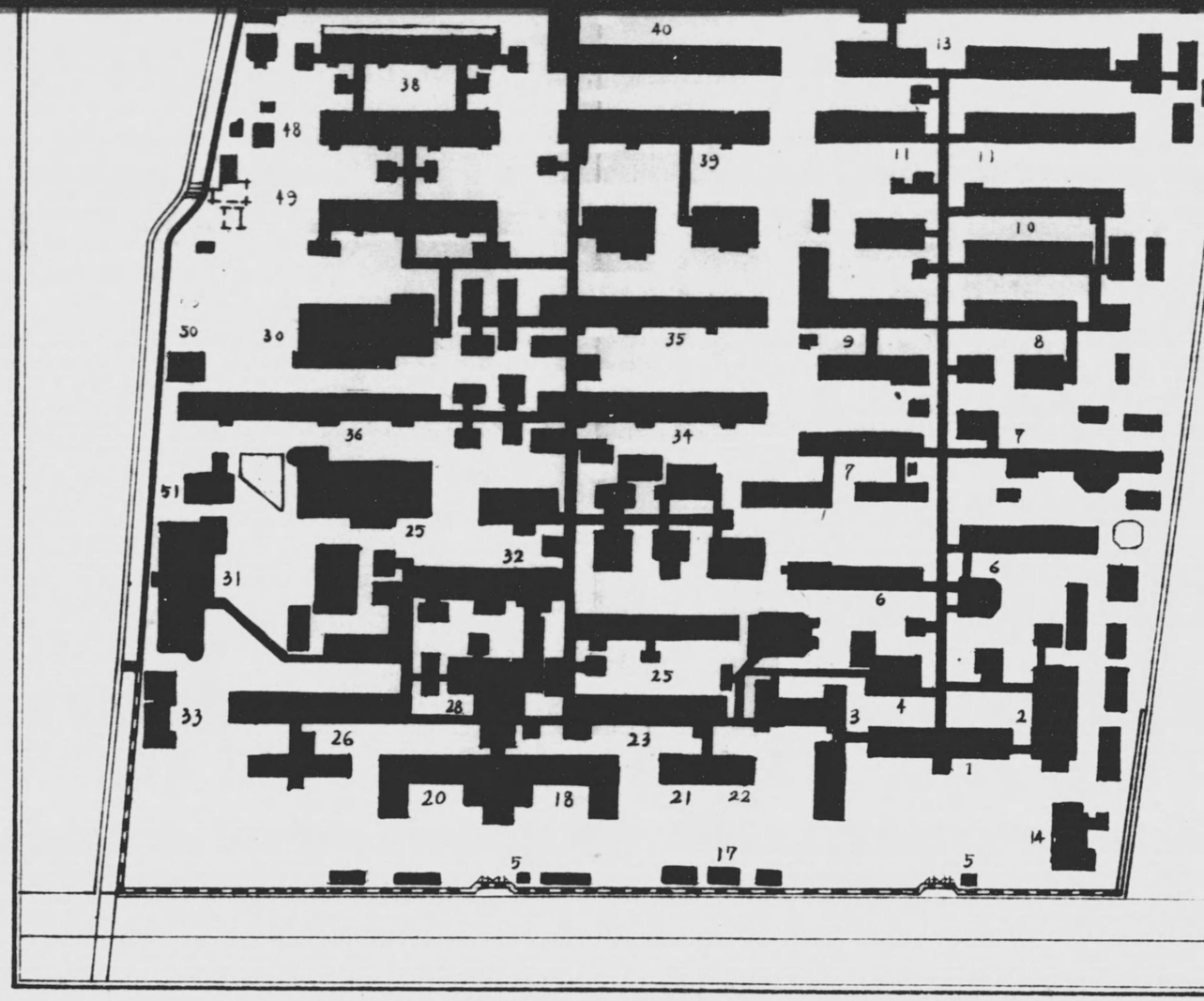






1	本館
2	講堂
3	圖書館
4	學生扣所
5	門衛所
6	生理學敎室
7	解剖學敎室
8	法醫學敎室
9	藥物學敎室
10	醫化學敎室
11	細菌學敎室
12	衛生學敎室
13	病理學敎室
14	集會場
15	柔劍道場
16	學生浴室
17	自動車々庫
18	稻田內科敎室
19	柿沼內科敎室
20	皮膚科泌尿器科敎室
21	津田外科敎室
22	泉外科敎室
23	外科外來患者診察室
24	內科外來患者診察室
25	產婦人科敎室
26	眼科敎室
27	耳鼻咽喉科敎室
28	藥局
29	看護婦養成科敎室
30	小兒科敎室
31	調理部及食堂
32	外來食堂
33	製氷室
34	外科病棟
35	共同病舍
36	婦人科病棟
37	精神科敎室及病棟
38	隔離病棟





51	50	49	48	47	46	45	44	43	42	41	40	39	38	37	36	35	34	33	32	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	16	15	14
機關室	配電室	淨化裝置	汚物燒却炉	靈柩室	動物室	看護婦集會所及監舍	プール	看護婦寄宿舍	皮膚科病棟	耳鼻咽喉科病棟	内科病舍並共同病舍	眼科病棟	隔離病棟	精神科教室及病棟	婦人科病棟	共同病舍	外科病棟	製氷室	外來食堂	調理部及食堂	小兒科教室	看護婦養成科教室	藥局	耳鼻咽喉科教室	眼科教室	産婦人科教室	内科外來患者診察室	外科外來患者診察室	泉外科教室	津田外科教室	皮膚科泌尿器科教室	柿沼内科教室	稻田内科教室	自動車々庫	學生浴室	柔劍道場	集會場

⊙附　錄

岡山醫科大學學友會規則

第一章　總　則

第一條　本會ハ岡山醫科大學學友會ト稱ス

第二條　本會ハ會員相互同心協力シテ德性ヲ涵養シ智識ヲ研磨シ身體ヲ鍛鍊シ以テ學風ヲ振作スルヲ目的トス

第三條　本會ハ岡山醫科大學内ニ置ク

第四條　本會ハ左ノ會員ヨリ成ル

正會員　名譽會員　特別會員　終身會員　贊助會員

正會員ハ本學々生ヨリ成ル、但研究科學生並ニ專攻生ヲ含ム

名譽會員ハ本會ニ緣故又ハ功勞アルモノニシテ役員會ノ推薦ニヨリ成ル

特別會員ハ本學敎官、事務官、藥局長、助手、副手ヨリ成ル

終身會員ハ卒業生ニシテ特別會員ニ該當セサルモノヨリ成ル
贊助會員ハ本學前身學校出身者ニシテ特別會員ニ該當セサルモノヨリ成ル

第五條　會員ニシテ本會ノ體面ヲ汚ス行爲アリタル時ハ會長ハ之ヲ除名スルコトアルヘシ

第二章　役員

第六條　本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長　副會長　部長　幹事　委員　書記

第七條　會長ハ學長ヲ推戴ス

會長ハ本會ヲ總理シ會議ノ議長トナル

副會長ハ教授中ヨリ會長之ヲ囑託ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アル時ハ之ヲ代理ス

部長ハ教授助教授中ヨリ各部ノ推薦ニヨリ會長之ヲ囑託ス

但シ庶務部長ハ學生主事之ニ當ル部長ハ凡テ兼任スルヲ得ス

部長ハ當該部一切ノ部務ヲ管理ス

幹事ハ事務官之ニ當ル

幹事ハ本會ノ事務ニ從事ス

委員ハ正會員ノ互選ニヨリ各級一名宛各部ヘ選出ス

委員ハ當該部一切ノ部務ヲ處理ス

書記ハ本學事務員中ヨリ會長之ヲ囑託ス

書記ハ幹事ヲ補佐ス

第八條　役員ノ任期ハ一ケ年トシ毎學年ノ始ニ就任スルモノトス

第九條　委員ノ選擧ハ毎年二月ニ之ヲ行フ

但シ一年級ハ第二學期ノ始ニ於テ委員ノ選擧ヲ行フ

第十條　委員ニ當選シタルモノハ猥リニ辭任スルコトヲ得ス

第三章　役員會

第十一條　役員會ハ會長、副會長、部長、幹事、委員ヲ以テ組織ス

第十二條　事務遂行上ノ便宜ノ爲メ代表委員會ヲ設ク

代表委員會ハ會長、庶務部長、幹事、庶務部委員四名各部代表委員一名宛ヨリ成リ會長之ヲ招集ス

第十三條　會長ハ毎學年ノ始ニ於テ役員會ヲ招集シ當年度ノ豫算ヲ議ニ附ス

但シ必要ニ應シ臨時役員會ヲ開クコトアルヘシ

役員會ハ出席義務者半數以上ノ出席ナキ時ハ開會セス

議決ハ多數決トス可否同數ノ時ハ議長之ヲ決ス

第十四條　規則改正ヲ除キ本會ニ關スル他ノ重要事項ハ役員會ノ決議ニヨリ決ス

第十五條　規則改正ハ役員會及總會ノ決議ヲ經會長ノ許可ヲ受クルモノトス

第十六條　規則改正ニ關シ役員五名以上又ハ會員中十分ノ一以上ノ請求アル時ハ會長ハ役員會ヲ招集スルヲ要ス

第四章　總會

第十七條　會長ハ必要ニ應シ又ハ役員會ノ要求ニヨリ總會ヲ招集ス

總會ノ決議ハ多數決ニヨル可否同數ナル時ハ議長之ヲ決ス

第五章　部

第十八條　本會ノ目的ヲ達センカ爲ニ左ノ諸部ヲ置ク

庶務部、文藝部、劍道部、柔道部、庭球部、卓球部、陸上部、(陸上競技部及蹴球部)野球部、水上部(漕艇部並水泳部)音樂部、乘馬部、弓道部

第六章　會計

第十九條　本會ノ經費ハ會員ノ會費入會金及寄附金ヲ以テ支辨ス

第二十條　會員ノ會費額ハ左ノ如シ

正會員ハ一ヶ年拾四圓毎年四月、九月ニ授業料ト共ニ分納シ卒業期ニ金五圓ヲ納ムルモノトス

但シ研究科學生及專攻生ハ入學ノ際並ニ毎年度始ニ金五圓ヲ納入スルモノトス

特別會員ハ有給者ハ毎月俸給二百分ノ一ヲ分納シ他ハ年壹圓五拾

錢ヲ學年ノ始ニ納入スルモノトス

名譽會員、終身會員及賛助會員ヨリハ會費ヲ徴收セス

但シ有志者ノ寄附ハ之ヲ受クルコトアルヘシ

第二十一條　正會員ノ入會金ハ拾五圓トス入會ト同時ニ之ヲ納ム

但研究科學生並ニ專攻生ハ入會金ヲ要セス

第二十二條　本會ノ會計事務ハ本學會計課ニ於テ之ヲ取扱フ

第二十三條　既納ノ會費、入會金及寄附金ハ如何ナル場合ニモ返却スルコトナシ

第二十四條　本會ノ事業年度ハ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日マテトス

第二十五條　部長ハ毎年三月末日迄ニ當該部決算ヲ會長ニ報告スヘシ

第二十六條　部長ハ代表委員會ニ提出スヘキ當該部當年度ノ費用ヲ豫算シ毎年度始ニ會長ニ差出スヘシ

第二十七條　會長ハ毎年度始ニ代表委員會ニテ當年度豫算案ヲ作製セシム

第二十八條　會長ハ定期役員會ニ於テ當年度豫算ヲ議定セシム

第二十九條　毎年度剰餘金ハ本會基金中ニ繰入ルヽモノトス

但シ役員會ノ議決ヲ經テ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用シ得ルモノトス

第三十條　費用ハ部長及委員ノ捺印シタル債權者ノ請求書ニアラサレハ支拂フヘカラス

附則

各部ハ事業遂行上別ニ其細則ヲ定ム可シ

但シ會長ノ認可ヲ受クヘキモノトス

◉岡山醫科大學卒業生

（昭和五年十二月一日現在）

氏名ノ上ニ×印ヲ附スルハ死亡者

大正十五年三月卒業（二十三人）

伊丹訓吾　岡山　　早川政俊　愛知
奥山美佐雄　岡山　　渡邊九郎　岡山
竹内道眞　岡山　　中澤六男行　兵庫
藤田富豐　廣島　　藤川良雄　德島
×三宅郁多　香川　　宮崎哲　岡山
須藤五一郎　高知　　菅田濱　岡山
西村伊勢松　岡山　　西田實雄　廣島
渡邊傳二　岡山　　金光康生　廣島
中村博　和歌山　　前田謙二　東京
小池藤太郎　三重　　岸岡精華　岡山
進藤直作　愛媛　　廣川濟　廣島
×鈴木鐸郎　宮城

昭和二年三月卒業（二十七人）

市村丑雄　岡山　　伊藤駒夫　大分
大田原一詳　岡山　　音田德太郎　大阪
横山秀三　島根　　田端健久　和歌山
村山高新　潟　　上野博　岡山
松森明　福井　　福田豐　和歌山
佐伯純一　大阪　　菊田兵三　宮崎
森長秀　東京　　勝呂學　靜岡
井手又祓　佐賀　　劉雄　支那
加藤暢　靜岡　　吉田豐太　岡山
佃毅　香川　　永山太郎　岡山
熊本正熙　福岡　　山口節郎　和歌山
新勇奈　眞　　佐藤國男　兵庫
宮田貞二　山口　　廣田照輝　山口
平井出正三　山梨

昭和三年三月卒業（四十七人）

岩藤良秋　岡山　岩井知義　兵庫　原田要一　岡山　橋本亨　熊本
林孝彦　廣島　濱田英治郎　岡山　×堀一雄　岡山　董道善　支那
×土岐龍三　岡山　藤間靜島　根島　趙脩頤　支那　大槻清實　德島
岡村好幸　和歌山　生山昌敏　山梨　織戸亨　大分　河合忠義　岡山
香取正倫　千葉　鎌倉貢　廣島　横山丈夫　鹿兒島　立花岩吉　岡山
田中敬三　兵庫　土屋敏正　兵庫　村上立男　岡山　氏家貫三　東京
上野勝太郎　島根　栗林太郎　大分　日下連　岡山　山根馨　岡山
松波賢吾　岐阜　松浦三郎　兵庫　松村光雅　栃木　牧野博　岡山
正岡旭　廣島　前田茂　兵庫　藤原東一郎　岡山　藤野源三　愛媛
藤本義治　奈良　福本久　兵庫　福井元之輔　青森　古田壽次　岡山
阿久澤太重群馬　佐藤幹　島根　三谷登　岡山　三木貞定　兵庫
檜垣律夫　廣島　森秀齊　京都　末岡悟　山口

昭和三年五月卒業（一人）

西村虎夫　宮崎

昭和四年三月卒業（四十七人）

石川適　岡山　飯尾勝海　島根　帆足九萬三　大分
大島松一　岡山　小野田良一　岡山　和田達郎　島根

河合郁二　兵庫　加藤五郎　靜岡　葛城雷次郎　福岡　龜山茂松　福岡
吉田和男　岡山　高橋重勝　熊本　田代喬　島根　武信芳郎　東京
谷尚一　兵庫　玉木康允　香川　中田敏哉　島根　馬詰征平　兵庫
桑原良一　岡山　藏本貢　廣島　山本靖造　岡山　安井彌八　兵庫
小林章二　廣島　後藤勇　長野　佐藤悌大　分　佐藤喬　岡山
佐藤秋夫　岡山　佐藤進六　香川　佐藤信平　新潟　齊藤義次　岡山
最所勝英　佐賀　木屋梓　福岡　木村誠七郎　新潟　岸毅　島根
北義保　兵庫　三木行治　岡山　三舟淳夫　德島　宮崎義則　愛媛
湊次郎　山口　白石功　熊本　進藤眞作　兵庫　清水勝　京都
神藤達男　愛知　森六朗　岡山　鈴木章　岡山

昭和五年三月卒業（五十九人）

石原忠之　岡山　石川正次　兵庫　岩永勘一　長崎　星島忠夫　岡山
富田廉三　廣島　友廣忠正　大阪　太田克　岡山　大塚蕃　岡山
大重實造　鹿兒島　大野慶文　京都　小田源太郎　岡山　小川壽　岡山
岡村榮雄　長崎　岡本好之助　岡山　越智幸雄　愛媛　渡邊武　香川
加藤照夫　靜岡　河原省平　岡山　橫山久衛　岡山　高見孝志　岡山
高橋熊夫　兵庫　高田弘　岡山　田隈克巳　兵庫　玉井元三　愛媛
立野清一　山口　中村孟　廣島　中村俊雄　山口　中西正男　岡山
中山一彥　福岡　中島秀征　東京　永光軍一郎　福岡　宗盛武雄　廣島

村上德太郎　愛媛　浦城二郎三　重
厨　董　大阪　桑原利勝大　分
松本茂人　廣島　松山啓助　熊本
古林隆碩　岡山　遠藤虎之助　香川
水谷一輝　香川　澁谷成利　京都
本松　明　福岡　桃井寛次　京都
菅　龍正　廣島　杉佐助　高知
熊井孝三　山口

昭和五年四月卒業（一一人）

野口武夫　愛媛　黒田秀隆　岡山
戒能一郎　愛媛　松田義秋　奈良
福本清治　兵庫　小西信雄　廣島
齊藤出羽　栃木　水野知文　廣島
東島辰雄　佐賀　廣津格大　分
仙波廣一　愛媛　菅田士郎　岡山
高島正夫　岡山

⊙元第三高等中學校醫學部
元第三高等學校醫學部
元岡山醫學專門學校
元岡山醫科大學附屬醫學專門部卒業生

氏名ノ上ニ×印ヲ附スルハ死亡者　（昭和五年十二月一日現在）

元第三高等中學校醫學部

明治廿二年七月醫科卒業生（十八人）

物部恭平　岡山　×岸　美之三　島根
久保湖一郎　愛媛　兒玉三代太郎　廣島
太田眞三次　岡山　×江見文夫　岡山
×山本喜重郎　岡山　賀川一郎　德島
杉田平輔　鹿兒島　×三羽市夫　岡山

明治廿二年十二月醫科卒業生（四十人）

富村金次郎　島根　松原朋三　香川
晴木龜之進　島根　×沖　利喜太　岡山
河合佐次郎　愛媛　×赤松是三郎　岡山
×宇野　武　岡山　藤原鐵太郎（舊姓藤島）　岡山
高畑運太　香川　矢野恒太　岡山
×芦田松三郎　島根　石岡繁太郎　岡山

×藤田　茂　香川　戸田虎三　岡山
×高根房次郎（舊姓井野）　岡山　×平原碩衛　岡山
×村上格言　愛媛　×久山隼太郎　岡山

明治廿二年十二月醫科卒業生（四十人）

難波益太　岡山　陶　熙　香川
荒木蒼太郎　岡山　×野村圓吉　岡山
×二宮浩一　岡山　×三上季三郎　岡山
藤田荒次郎　岡山　西　修爾　和歌山
高橋武三郎　岩手　×近藤恒有　岡山
木下　博　和歌山　澄川吉太郎　島根

植木第三郎　京都
×伊藤應治　兵庫
小菅秀之助　三重
×藤澤克孝　岡山
柘植宗貞　三重
村上彌若　鳥根
×南部啓　京都
大林森次郎　香川
×大澤貞三　岡山
富井佳治　兵庫
×小西元太郎　香川
水野善一　岡山
中野　衛　兵庫
山口作郎　鳥根

村上六也　京都
富田龍太郎　兵庫
×園方昌三郎　岡山
×須藤文雄　京都
加藤勇　鳥根
×岡崎　晴　岡山
近元儀助　京都
篠村富三郎　京都
×東澤和作　岡山
永井政忠　愛媛
福本鉄太郎　鳥根
生川善三　鳥根
永海貞一　鳥根
×岡崎晴彦　岡山
林　清　岡山
×小野田晋哉　岡山
×伊藤應太郎　京都
×近藤泰太郎　京都
×渡邊勘平　岡山
×渡邊支輝　岡山
大島勘平　鳥根
石井剛太郎　岡山
大石房次郎　兵庫
稲井泰藏　兵庫
守屋三郎　岡山
×鷲　房　岡山
大淵雄一郎　岡山
杉山鉄太郎　岡山
小出蓬一郎　岡山
福知常繁　京都
山口作郎　鳥根

明治廿五年十一月醫科卒業生（五十四人）

正誤

植田直太郎　岡山
桑澤久治　京都
高橋勝彦　鳥根
永井政忠　愛媛
×林　清　岡山
×中野　衛　岡山
×加藤文俶　京都
×篠村富三郎　京都
×近元儀助　京都
×東澤和作　岡山
×岡崎　晴　岡山
×須藤文雄　京都
×園方昌三郎　岡山
×藤澤克孝　岡山
×南部　啓　京都
×大林森次郎　香川
×小西元太郎　香川
×小野田晋哉　岡山
×伊藤應太郎　京都
×近藤泰太郎　京都
×渡邊支輝　岡山
×渡邊勘平　岡山
×黒岩龜壽　高知

金田義一郎　岡山
×乙部藤之丞　岡山
森脇圓治　和歌山
林　幹生　高知

明治廿三年十二月醫科卒業生（四十六人）

×越智豊太郎　愛媛
五十嵐辰馬　兵庫
×鳥羽一平　奈良
×奥山一郎　鳥根
畑　勇造　和歌山
×田代文助　鳥根
×木野佳次郎　愛知
×岡本一之助　鳥根
垣内三郎　和歌山
河本眞吾　岡山
×佐久間延太郎　廣島
×鴨井久米五郎　岡山
×金林喜太郎　岡山
×柚木壽太郎　岡山
×佐藤駒太郎　廣島
分　鳥
櫛部寛一郎　大分
川上佐渡太　岡山
×曾我部元　市德島
北條寛平　德島

明治廿四年十二月醫科卒業生

山根馨三郎　鳥根
三並知夫　愛媛
駒井　潔　兵庫
×石川豊造　岡山
×寺尾晉吾　愛媛
×水川泰系　愛媛
瀬戸山清彦　岡山
×木原彦三郎　岡山
多田豊三郎　岡山
×米原彦三郎　岡山
×多田豊三郎　岡山
×古川武平　德島
×植髙勇夫　廣島
未野佃藏　岡山
薗田吉永郎　岡山
豐田吉永郎　岡山
×佐久間延太郎　廣島
×鴨井久米五郎　岡山
×金林喜太郎　岡山
×柚木壽太郎　岡山
×佐藤駒太郎　廣島
分　鳥
櫛部寛一郎　大分
川上佐渡太　岡山
×曾我部元　市德島
北條寛平　德島

明治廿四年十二月醫科卒業生

山根馨三郎　鳥根
三並知夫　愛媛
駒井　潔　兵庫
×石川豊造　岡山
×寺尾晉吾　愛媛
×水川泰系　愛媛
瀬戸山清彦　岡山
×木原彦三郎　岡山
多田豊三郎　岡山
×米原彦三郎　岡山
×多田豊三郎　岡山
×古川武平　德島
×植髙勇夫　廣島
未野佃藏　岡山
薗田吉永郎　岡山
豐田吉永郎　岡山
×佐久間延太郎　廣島
×鴨井久米五郎　岡山
×金林喜太郎　岡山
×柚木壽太郎　岡山
×佐藤駒太郎　廣島
分　鳥
櫛部寛一郎　大分
川上佐渡太　岡山
×曾我部元　市德島
北條寛平　德島

明治廿三年十二月醫科卒業生（四十六人）

×越智豊太郎　愛媛
五十嵐辰馬　兵庫
×鳥羽一平　奈良
×奥山一郎　鳥根
畑　勇造　和歌山
×田代文助　鳥根
×木野佳次郎　愛知
×岡本一之助　鳥根
垣内三郎　和歌山
河本眞吾　岡山
×佐久間延太郎　廣島
×鴨井久米五郎　岡山
×金林喜太郎　岡山
×柚木壽太郎　岡山
×佐藤駒太郎　廣島
分　鳥
櫛部寛一郎　大分
川上佐渡太　岡山
×曾我部元　市德島
北條寛平　德島

原竹造　島根　森本武一郎　島根　齋鄕品之助　山口　×長尾圭一郎　大分
柚木鉄治　岡山　田北信一　山口　×藤川義衞　岡山　山中藤一郎　岡山
利根隨吉　大分　和氣熊太郎　岡山　室住儀三郎　德島　×中村鎌吉　長野
力丸繁　兵庫　岡本廣助　兵庫　吉田武平　岡山　足達綱　福岡
×木村雄　兵庫　×野老山高茂　高知　×近藤元春　和歌山　畑禎太郎　兵庫
三木堅二郎　兵庫　小野寬逸　廣島

明治廿五年十一月藥學科卒業生（九人）

×勝山虎三郎　岡山　寺尾完治　愛媛　武田愛一　山口　（醫傳）八十川榮太郎　香川
森田和平　岡山　井上福松　岡山　×藤原吉二　岡山　（舊片山）加藤誠治　岡山
重成八百吉　岡山

明治廿六年十二月醫科卒業生（三十二人）

×加納作太郎　岐阜　梅田覺太郎　廣島　×樋口繁次郎　滋賀　×馬島長四郎　德島
×津野長也　兵庫　×沼本浩　岡山　和田善次郎　島根　內藤達　德島
×山崎信次郎　山口　板東要太郎　德島　三木龍哉　岡山　松井隅太　京都
松村洋　大阪　×西田司馬　福岡　太田喜眞太　岡山　辻井松之助　京都
山根亭七　島根　井阪爲則　德島　門田豊熊　山口　谷口一郎　岡山
武下吉次　香川　小森甲子良　京都　奥平孫太郎　鳥取　×陸隆一郎　岡山
內田久太郎　岡山　橫地九三郎　三重　×渡邊友琥　岡山　岡崎良吉　京都

松崎章太郎　兵庫　小篠平三　島根　×服部稔　兵庫　×日名寬吾　岡山

明治廿六年十二月藥學科卒業生（十五人）

古田宗二郎　三重　山本安吉　山口　勝山和仲　京都　×岡村磯五郎　京都
大谷金助　島根　×（舊金子）武藤十郎　岡山　檜垣幸作　山口　×原牧三郎　島根
大井安次郎　岡山　×町田覺一郎　岡山　水川駒次郎　岡山　野崎廉平　岡山
石井奮方　岡山　木村亥左武　岡山　美甘熊七　岡山

明治廿七年十一月醫科卒業生（三十九人）

兒玉惟一　廣島　尾池元太郎　兵庫　麻植巨一　德島　×吉本勝之助　廣島
×樋口虎若　愛媛　×中村悅次郎　島根　河內山政一　山口　遠藤三千二　香川
宮田潤太郎　島根　×石原俊吉　岡山　（舊石川）泊傳四郎　島根　×佐藤龜一郎　岡山
吉川脩一郎　和歌山　內山錬吉　京都　浦上一二　岡山　田中彥三郎　香川
膳所榮十　大分　白木元吉　神奈川　×增岡道太郎　山形　（舊長野）鷲岡俊平　京都
×市原廣助　山口　×虫明俊三　岡山　梅谷幹人　大阪　陶山鑽治　岡山
三宅修造　和歌山　×內田忠造　京都　中澤千吉　兵庫　×大竹龜之輔　山口
佐野珠悅　島根　加藤一馬　廣島　石丸三郎　愛媛　山村恒太　香川
×小津眞佐太　岡山　山本甚市　島根　三井謙三　香川　牛窪季矣　京都
小泉貿　山口　鷹津文郁　兵庫　上田久太郎　德島

明治廿七年十一月藥學科卒業生（九人）

永島忠三重　舊神谷光後元太郎岡山　小出修奈良　高杉要二郎岡山
堀林太郎岡山　服部與福井　金澤舊岩助巖岡山　草薙彊兵庫
村田康太郎愛媛

明治廿八年十一月醫科卒業生（二人）

川南求滋賀　高橋數尙香川

元第三高等學校醫學部

明治廿八年十一月卒業生（六十三人）

秦佐八郎島根　×永富恕平大分　×香川貞市島根　×田中茂吉和歌山
×石部國次郎島根　金田正兵庫　三浦幸彌兵庫　×雖波立達岡山
×松波哭太郎岐阜　佐藤薰香川　河村益三山口　鍋島三藏香川
小倉儔愛媛　笠原哲也大阪　×內山退藏兵庫　土屋近市岡山
×松尾壽太佐賀　西村貞三郎京都　×進藤進大阪　越智一覺廣島
小倉忠夫廣島　奈良眞三郎岡山　×米澤幸造兵庫　×野津猛男島根
飯田左三三重　吉谷恒三郎大阪　須山肇島取　和田英太郎大阪
坂東儀八郎香川　土井敬八郎兵庫　須麿輝市廣島　×山本舊牛井騰福井
渡邊忠男島取　小田右市三重　岩崎千代松島根　井上英一廣島

五十里董椒福岡　×山崎先多平兵庫　山梨信太郎靜岡　皿井立三郎岡山
×神谷武夫岡山　三宅良一廣島　鈴木鼎吉京都　赤澤乾一廣島
島中雄才奈良　安部藤隆福岡　柳爲輔山口　山本宗一大阪
×上田發志大分　河原杏平岡山　×手塚亨二郎東京　×遠山小太郎愛媛
德永鹿太郎福岡　橘久三郎香川　福田勣次郎兵庫　井口和十郎香川
中河與吉郎香川　×奧田作藏兵庫　佐々木隆吉岡山　×野村猛熊山口
三宅方朔福岡　×森要岡山　×山下隆次德島

明治廿九年十一月卒業生（四十三人）

×藤原薰島根　松井幾郎廣島　×菊池正光福岡　錦織幾三郎島根
×梅本熊太郎福岡　藤原勝吾岡山　馬島良吉滋賀　上野賢藏兵庫
三野原愛四郎福岡　松崎宗信愛媛　×日比野勉德島　上田長藏京都
西井廉作岡山　松尾廣運島根　×野村男三高知　田中常一兵庫
調道太郎福岡　×有持哲造德島　原藏太佐賀　岩井正浩高知
二井榮太郎兵庫　森舊田路金重郎兵庫　金子宇十郎長崎　×秀平嶺太岡山
白築榮三郎島根　黑住靜太岡山　明星育藏愛媛　野口元七高知
×柴山文太岡山　下村幸太兵庫　加藤舊片山誠治岡山　後藤許太郎廣島
×安原忠人岡山　天野友藏山口　岡崎類三廣島　永井秀太岡山
×遠藤隆宣京都　三河內諄一山口　森谷柳太郎岡山　美田玄司兵庫
×梅谷秀和兵庫　×中村四郎廣島　長濱友雄山口

明治三十年十一月卒業生（六十二人）

×高島庫文司 德島
伴 鎌吉 岐阜
×楢崎敬之 福岡
廣橋源藏 兵庫
秋光二六 廣島
×中野忠一郎 京都
大江匡雄 京都
楠原正香 大分
松岡松治 大分
×横矢重吉 高知
名和田豊作 山口
谷口百太郎 奈良
石原廣四郎 岡山
兒玉玄吉 廣島
須藤五百三 岡山
（舊物部）銀羽玗治郎 岡山

×奥山周達 奈良
井上圓造 福岡
×永山長三 岡山
×角田秀雄 兵庫
佐藤靜夫 岡山
×佐藤桃朔 廣島
×赤松榮太郎 岡山
中野俊造 福岡
田村 環 香川
朝岡龍太郎 大阪
×光畑幸雄 岡山
田中恒楠 和歌山
梅原芳雄 京都
×品川正三 山口
岸岡修吉 岡山
×太田 完 島根

淺野賢之助 島根
（舊淺石）松山咲二 岡山
×桑原利馬 大分
×繼邊壯平 岡山
加來惟吉 福岡
生野秀二 岡山
山口良一 兵庫
鳥山淳治 岡山
宮原修藏 山口
四倉富城 宮崎
大賀正造 福井
秋岡虎雄 大分
大谷熊之進 山口
×前田大吾 廣島
銀林重雄 新潟

×岡崎淑夫 福岡
亀井顯次郎 島根
淺羽春之 岡山
中山傳九郎 宮崎
×山下德衛 廣島
（舊博）岸 一太 岡山
×河村 鼎 山口
橋本猛夫 德島
高山龍之助 和歌山
×森 光太 岡山
坪田旭一 岡山
小野彦藏 奈良
內田金一郎 岡山
長澤康人 京都
藤山一雄 岡山

明治卅一年十一月卒業生（六十四人）

森 十司 兵庫
谷口捨次郎 奈良
（舊藤木）河野稻太郎 岡山
松本百之助 香川

（舊伊東）大木與四郎 長崎
兒玉吾一 廣島
×吉村眞貴 熊本
細田富瀾 鳥取
朝長賤夫 長崎
×大野克巳 鳥取
內山敏夫 兵庫
宮原（舊龜）正康 佐賀
×三ツ卷貞助 山口
×吉田武雄 鳥取
棚橋 隆 德島
（舊博）平田吾一 廣島
天羽恒太郎 德島
高木勝見 奈良
（舊博）前田三郎 兵庫

堀野美治 山口
安井雅一 愛媛
×小林豊三 鳥取
近藤寛次郎 岡山
勝野英雄 德島
×渡邊 達 福岡
×園田鶴太郎 廣島
三戶常三郎 愛媛
×夏井正胤 愛媛
井上悅介 德島
×原 巍 岡山
太田貞吉 大阪
×二宮 要 福岡
久保辰次 山口
內田綱太郎 佐賀

×德永升太 岡山
（舊博）佐伯 矩 愛媛
（舊博）谷 高三郎 岡山
宮川久米次郎 福岡
×村田龜太郎 岡山
生田樂太郎 岡山
小鳥居才吾 長崎
×北原竹男 福岡
×井上久一 大分
村田暢四郎 大阪
×松田靜雄 廣島
宮武幾太郎 香川
西下武治郎 岡山
×佐々木長通 島根
西村義男 兵庫

（舊博）齋藤（舊中）精一郎 秋田
馬場利三郎 滋賀
（舊稻葉）布留幾作 長野
×渡邊瀧造 岡山
桑原敏行 廣島
横山久太郎 岡山
大平彦市 廣島
服部清一 廣島
小山小文治 和歌山
西 鶴之助 鳥取
森下忠恕 高知
富永壽一郎 廣島
藤井普一郎 岡山
×谷山寅吉 岡山
高橋俊雄 廣島

明治卅二年十一月卒業生（五十七人）

×關原欣二 岡山
×小倉耘平 岡山
黑瀨藤一郎 廣島

甲斐四郎 廣島
物部亀久壽 高知
×向井 新 長野

北山乾三 京都
百々次郎 兵庫
石田幾馬 廣島

今村 實 島根
×櫻木拙藏 鳥取
長野楠太郎 高知

伊藤英雄兵庫　×高田千賀太岡山　小畑義教鳥取　砂堀雅人廣島
倉重眞一山口　淺田捨吉兵庫　伊藤五郎福岡　舊大森石戸巍岡山
杉右一山口　小田成器岡山　×岸田九平山口　梶原與七郎熊本
多々見五郎山口　吉田坦藏兵庫　×鈴木重樹愛知　太田延郎三重
舊太田伊澤元藏岡山　田部健一廣島　內島昌雄德島　高尾朔二島根
浦上純一德島　×川上甚太鳥取　淺山幡太郎山口　×六車謙八香川
今川安宅愛媛　森滋太郎福岡　浦上三四岡山　×梅谷修藏兵庫
兒島碩藏熊本　大澤喜衛愛媛　×平原貞吉長野　永松晋次大分
×三輪俊弼山口　吉村誠一山口　楠瀨正俊高知　三玉彌壽二廣島
伊藤壽吉石川　景森森太郎岡山　舊戸倉佐藤春一岡山　×大屋熊之助福岡
齊藤孝弘福岡　舊島田西山壯三廣島　門田正德岡山　日隈新大分
長谷川廉平岡山

明治卅三年十一月卒業生（六十九人）

×醫博本田重次郎愛媛　古川浩兵庫　中丸市兵衛廣島　淺沼登眞太岡山
山川庫藏德島　河村秀三廣島　小谷德雄鳥取　福塲智可廣島
平岡確一廣島　舊桂東條健齋德島　×中林義男島根　山根健二郎島根
藤本助治岡山　×神殿美代藏宮崎　澄谷奏廣島　開發展也兵庫
片岡光次郎島根　×筒井元吉德島　半井鐵道愛媛　島中全助德島
×太田宣男岡山　木村太郎岡山　野崎一義高知　森富太郎岡山

尾上德太郎兵庫　松村坦治兵庫　吉野一知愛媛　×時澤幾造山口
鶴崎政記熊本　小田切秀述福岡　今井文次郎兵庫　池上馨一岡山
成田丈一德島　×西本安麿廣島　山本陸治兵庫　中川助太郎山口
岡保二島根　永安寬島根　隈部篤長野　朝倉義路高知
神田震吉京都　舊佐伯合田龜太郎愛媛　×勝原善之助兵庫　峯本愛藏德島
杉山貴一山口　矢野政五郎德島　×牛尾信夫大阪　長濱丹次山口
後藤倫四郎廣島　柳原元重高知　淺原俊次郎福岡　出原義重高知
加藤哲造廣島　吉田瑞太兵庫　中村正路岡山　脇本正夫岡山
×深澤精三兵庫　峯當一長崎　松本和雄廣島　中山靖治岡山
森矯岐阜　×河原岩太岡山　伊藤一郎大分　深山巖兵庫
米田房太郎鳥取　醫博溝口喜六佐賀　妹尾雄一郎岡山　藤井亮介兵庫
治部松四郎岡山

元岡山醫學專門學校

明治卅四年十一月卒業生（七十人）

吉馴秀雄香川　黑田治太郎岡山　浦城大助三重　×三池治福岡
高月三郎長崎　×仁木五郎彥長野　山之內忠茂愛媛　×佐久間草一郎岡山
田北義雄大分　橫山光永兵庫　三宅川治三郎愛媛　山田通兵庫
由井雄兵庫　×尾形十太郎廣島　片寄連宮崎　本村成章長崎
大石三雄三重　×牧野佐三郎島根　市原辰泰高知　辻田百太郎福岡

×渡邊賴男 岡山　佐藤壽 岡山　×荒木嘉憲 島根　土屋直巳 大分　佐々木楢治郎 奈良　森川宗治 香川　×難藤靜夫 岡山　小國積治 兵庫　×松田深造 山口　×平野藤太郎 兵庫　新庄勝清 山口　小池恭 島根　×松井壽郎 佐賀　×眞鍋平八 德島　×大倉郁太 岡山　×尾上順太郎 熊本　北島種彦 佐賀　高原英夫 岡山　千賀愛人 愛媛　兒玉周一 島根　久保信之 佐賀　戸田磊之甫 岡山　細川平左衛門 廣島　山本泉 岡山　金川弘造 兵庫　×山科貞一 山口

石川勝春 愛媛　×古谷寅喜代 愛媛　×山口大三郎 兵庫　河本基一 廣島　×秋山榮 廣島　津田春大 大阪　名艸隆三郎 廣島　×竹內恂造 廣島　×小橋政香 岡山　×石尾定太 岡山　濱野哲郎 奈良　×眞鍋平八 德島　八島弘治 宮城　×古谷（舊石崎）勘三郎 福岡　×小林（舊石崎）國一 島根　山本泰吉 岡山　富永直俊 長崎　河田節夫 岡山　橋本一郎 岡山　林久雄 德島　戸澤三策 山形　足立丙子郎 奈良　×町野鼎造 山口　×今田正人 廣島

明治卅五年十一月卒業生（八十一人）

×牟田熊彦 佐賀　內藤直太郎 德島　出射一郎 岡山　古川佐一郎 愛知　瀧口一三 廣島　高木常雄 岐阜　香川瀧造 廣島　井崎精一 鳥取　×光田幹雄 岡山　村上茂 大阪　×大江（舊山崎）直吉 兵庫　千田（舊山崎）義雄 岡山　橫澤泰一郎 長野　保井安治郎 兵庫　黑須釋埼玉　大河內孝一 愛知　×石井久太郎 東京　逢坂左馬之助 德島　延岡靜 岡山　石原貫一 岡山

杉浦實雄 愛媛　須原廣三 重　三木德次 香川　三宅弘 岡山　×眞田謹一郎 愛媛　×北山眞造 京都　河內山信吉 山口　×土谷隆光 岡山　嵩鶴彥和歌山　木村尙德 島根　池田武 島根　×堤聚 愛媛　×藤澤義夫 香川　×內田耕一郎 福井　田中倉太 長崎　三好智整 岡山　山田覺 愛知　川田直清 香川　佐治豐 岡山　濱島秀梧 福岡　×福井慶太 岡山　×吉岡敬三 岡山　草野春平 東京　×片山愛雄 岡山　池田喜一 新潟　×姬井良夫 岡山　水野澤齋 大阪　五井徹三 重　角田清次 岡山　有村守平 鹿兒島　近藤綾次郎 德島　三谷盛國 高知　×藤村一郎 山口　×藤津善右衛門 山口　相田小八 長崎　×早川亮一 愛知　藤堂一郎 廣島　×北村尙虎熊 本　宮崎昌太郎 岡山　×田邊義一 大分　鈴木一吉 石川　安藤謙三 大分　長木義男 德島　×池田住太郎 島根　和田精才 兵庫　三好三郎 佐賀　藤原時彥 佐賀　瀨戶亘 高知　宮崎吉澄 愛媛　增原長治 島根　安達精三 滋賀　津島一伸 香川　佐藤壽雄 廣島　×丹羽浩 岡山　本田眩一 大分　桑原良馬 高知　永松休光 福岡　鈴木正司 新潟　久保井定治 奈良　南部健二郎 京都　矢野貞 愛媛

明治卅六年十一月卒業生（七十二人）

入倉榮 香川　×小（舊池）池嚴雄 島根　山添貞三 大阪　馬淵秀逸 大阪　折茂恒治 群馬　上（舊山）山喜明 島取　岡村善三郎 山口　三井圭造 山梨

平井龜太郎　廣島
×山本庄之助　兵庫
雞波秀太郎　兵庫
松田丈平　岡山
黑瀨富太郎　廣島
黑瀨眞一郎　福岡
石田敏太　岡山
朝長昌雄　長崎
國分禮吉　福岡
梶完次（舊三宅）　香川
後藤弘介　香川
×吉田慶助（舊三宅）　岡山
北室直一　德島
×髙木阿久利（舊博）　廣島
劍持民一郎　岡山
岩野俊治（舊博）　千葉
秦一學　福井
藤井政助　三重
平位律藏　兵庫
×土居通親　廣島
重富貫二　山口
×鈴木泰　岡山
×安倍鼎三　廣島
藤井與三　愛媛
植善次郎　和歌山
阪口義譜　和歌山
×三宅百樹　京都
鵜見助　愛媛
德森大成　沖繩
×立花綱祥（舊守屋）　佐賀
橫山巖　岡山
村上嶺二　廣島

明治卅七年十一月卒業生（九十一人）

內田操　奈良
×中北善之助（舊博）　滋賀
×佐野又新　島根
×佐々木寬治　大阪
渡邊悅次郎　三重
山本新次郎　愛知
陶山齊　島根

遠藤肇　德島
別所愛三郎　鳥取
×長坂誠　廣島
清水眞三郎　島根
增田正翁　香川
岡田順造　廣島
×奧野賢次郎　岡山
河合決香　川
村上敬二　福岡
大野守三　岐阜
×大前信三　大阪
眞野狹治　岡山
白形昌業（舊淺香）　愛媛
×赤井寬一　和歌山
×岡崎喜太郎　岡山
立川直　大分
森恒三　廣島
土佐兼次郎　島根
石原庫三　岐阜
安水說治　兵庫
武部元雄　京都
川西清規　岡山
松原乙作　山口
荒木要五郎　岡山
松井篤二　廣島
西崎忠平　岡山
近藤盛德　島
松岡敬止　香川
片山雄　岡山
黑田秀雄　山口
松田敏人　廣島
關餘作　北海道
近藤幸太郎　德島
×丸岡定吉（舊杉）　京都
×有馬純也　宮崎
堀江茂　廣島
河原猛夫　岡山
露野武夫　岡山
松成晉一　大分
村岡傳　山口

飯田良雄　大分
長船郁太郎　岡山
西山九右衛門　岡山
×代田英夫　長野
×吉田直毅　兵庫
岡山愛三三　重
大森爲二　岡山
三木方直　香川
國澤義朝　高知
友保正雄　岡山
鈴江豐　德島
×荒川寬　德島
×林田龍太郎　三重
水谷禎二　岡山
三瀨茂彥　愛媛
山口政一　鳥取
野瀨伊勢吉　福岡
×那須仙三郎　岡山
八尋卯次郎　福岡
小池環　島根
吉田秀之助　兵庫
阿部千年　福岡
×北村康夫　京都
×吉原準一　廣島
朝倉長三　兵庫
內田稔介　山口
松野一也　秋田
田崎清次宮　崎
岡田長一　島根
小柳實　福岡
黑田秀雄　山口
×辻田由馬　愛媛
松島堅吾　德島
越智佐夫　廣島
白神盛雄　岡山
田中榮一郎　德島
高原十三治　兵庫
有田暢介　山口
山田尙忠　岡山
山本贊亮　山口
×佐々木民雄　岡山

×二宮猪四郎 愛媛　×山內又八 香川　山中豊二 兵庫

明治卅八年八月卒業生（六十七人）

上田敬治 奈良　野田三郎 廣島　小橋新次 奈良　林有隣 廣島
井爪昌一 和歌山　田丸要槌 廣島　松浦輔彦 廣島　小倉一郎 岡山
角田權 岡山　奥宮松枝 高知　武市榮 德島　貴島貞三郎 大阪
菅一 愛媛　高田武三 岡山　森源之助 兵庫　町田弘一 岡山
藤田境太 岡山　佐藤次郎 廣島　×竹本源一 廣島　×北山文規 三重
平位節藏 兵庫　江木健三 廣島　高見新太郎 兵庫　平岡忠美 廣島
×花岡文四郎 三重　林正樹 山口　內山健吉 兵庫　伊庭慶吉 京都
菊原政通 愛媛　湯川新造 和歌山　田澤省三 神奈川　竈門龜千代 和歌山
魚角量吉 高知　吉田幸治 鳥取　溝端昌雄 大阪　小河愛之助 福岡
河村五十鈴 滋賀　若月館一 山口　×小松一樹 高知　吉岡一正 京都
生島質 兵庫　×兒島辰三郎 岡山　有馬文作 山口　×近藤熊猪 高知
安部一 大分　安田收藏 京都　藤本茂治 大阪　福井泰 岐阜
齋藤勝郎 島根　向井寬 香川　永井蓊 愛媛　安東謙之助 岡山
高田克明 兵庫　大喜多四郎 香川　三浦小次郎 鳥取　長田信實 高知
×小出和次郎 岡山　×山田淺次郎 廣島　安元進 福岡　岸六郎 廣島
萩尾勉 岡山　山崎利宗 廣島　向畑健次郎 和歌山　陶順二 山口
×中本房二 岡山　阿南一夫 大分　×畑精吾 三重

明治卅九年十月卒業生（九十人）

×石部賢三 島根　岡村儀人 山口　奥源之助 兵庫　岡村清次 高知
伊東卓哉 大分　牛尾耕平 廣島　×三宅保治 岡山　渡邊琢次 岡山
×大藤昇 岡山　加來彌三郎 大分　川崎舍正造 香川　三好正一 山口
×横山繁 岡山　福永豊綱 廣島　安達唯一 香川　×林榮太郎 岡山
大上富次郎 愛媛　×高島靜彦 愛知　×內田重太郎 香川　×竹腰馨 大阪
坪井喜寬 岡山　木村茂樹 兵庫　小牧德身 高知　豊田菅次郎 香川
村上憲佑 廣島　万袋大祐 岡山　榊原省吾 香川　寺島房吉 京都
大田原英一 岡山　渡邊一太 香川　篠原雅吉 香川　澄谷浦輔 廣島
小野寺芳三郎 兵庫　×小金井拙夫 兵庫　池田精一 愛媛　×黑住喜治 岡山
戸田安衛 岡山　横井達麿 愛知　增野揆一 山口　井內芳三 德島
和田英次 岡山　×青木季夫 福岡　堤元齡 三重　×岡崎澄太郎 島根
三木延一 德島　藤田覺三 三重　茶川一 山口　松本眞治 岡山
清水五郎 德島　武岡達次 德島　×吉井豊太 香川　中原清 島根
大橋直俊 兵庫　藤浪剛一 愛知　吉松鹿尾 宮崎　×渡邊八重馬 高知
山下三郎 岡山　三浦正一 山口　兒玉利秀 鹿兒島　德永達三 三重
伊賀龜三郎 香川　山上勘三郎 廣島　上條善太郎 長野　大野賢三 新潟
大島重雄 大分　柳澤貞郎 兵庫　岡本哲郎 山口　×清水朝雄 山梨
廣藤文造 廣島　三村英正 三重　柏村博 山口　兵頭要助 愛媛

×久保田三郎 兵庫　山中昌隆 兵庫　德永質 福岡　×多記章輔 山口
村上武四郎 廣島　西田信司 兵庫　白井正象 香川　小林久治 大阪
中原謙次郎 兵庫　×小原未輝 岡山　來栖昌一 山口　佐久間佳誠 奈良
太田英一郎 三重　×野上正次 岡山　延原量一 岡山　岩本哲郎 山口
淵嘉吉 大分　×高柳治助 岡山

明治四十年十月卒業生（百二十三人）

瀧口俊榮 福岡　×木戸純 鳥取　足立貫（舊止松）京都　蛭子暉（舊須藤）廣 愛媛
×安藤幹太 岡山　吉田廉 熊本　萩本快吉 大分　山名正士 高知
賀川哲夫（醫博）廣島　山田富三郎 岡山　×羽山周五郎 和歌山　本城立勢 岡山
×池上公平 廣島　×伊澤熊男 岡山　本名猛雄（舊岡田）岡山　矢澤弘水 長野
高原來二 岡山　渡邊爲世 愛媛　上田嵬 岡山　杉原盡 愛知
宇治木清之助 廣島　田村庸一 和歌山　笹原竹三 秋田　×楢崎達 山口
久保五百吉 香川　有松直輝 福岡　三浦賢柳 京都　近藤鐵太 岡山
長沼象助 山口　坂本清海 高知　東照平 岡山　澤村久壽猪 高知
×藤浪和美 愛知　內藤七郎 岡山　北川田朗二 岡山　立神正夫 廣島
福島壽人 廣島　河村泰寬 廣島　福島文藏 熊本　齋藤平七 廣島
三村恭助 岡山　吉村榮太郎 山口　矢野環 廣島　柘植俊雄 熊本
平川龍造 廣島　辻武四郎 大阪　長壽人 廣島　原染次郎 岡山
福山秀雄 兵庫　北亦利市 和歌山　大森熊次 岡山　眞野良隆 愛知

西川卓三 兵庫　池田萬 香川　高橋滿一郎 島根　吉川家善 廣島
蘆原松三郎 香川　高橋知尙 三重　三宅幹夫 岡山　西村一太郎 山口
高橋守三郎 愛媛　×高井强 兵庫　原田種弘 福岡　福岡作群馬 福井
山口杢郎 大分　宗友擇善（舊岡）岡山　藤條聰善 愛知　榎本六三郎 和歌山
×大村正員 滋賀　山口龍契 岡山　畝木卓之 岡山　藤戸正孝 兵庫
三浦萬之助 山口　×山崎英男 岡山　佐々木良策 三重　富士田如一 廣島
松澤喬 岡山　×淺原正稔 長崎　中村吉太 山口　安達周一郎 愛媛
木原舜市 廣島　百谷三郎 廣島　長谷川恒治 香川　田村宇一 廣島
伊藤琢郎 鳥取　堀田彌三松 大阪　冲谷末吉 大阪　日置高 大阪
×稻垣馨 京都　桑田潤吉 廣島　中村金藏 鹿兒島　松葉周一 廣島
×新居顯太郎 愛媛　松浦綾太郎 愛媛　鳥丸俊彥 鹿兒島　圓尾龜代治 兵庫
大塚和勝 愛媛　橫山銑太郎 高知　沼本綾造 岡山　產賀敏雄 岡山
小川庸夫 岡山　吉武權一 山口　小坂保 岡山　渡邊善作 栃木
×尾坂勇夫 岡山　時岡東作 新潟　進藤斧吉 岡山　桑原元吉 岡山
山崎蓊（醫博）廣島　高月賢一 岡山　福井勇太 山口　岸耕介 山口
×黑住寬二 岡山　戸田亨（醫博）廣島　柚木武夫 岡山　大塚文雄 滋賀
長村規矩 大分　井上靜丸 山口　×赤塚二郎 三重　松井俊一 廣島
小川勇平 岡山　藤川敬二 兵庫　松井林太郎 廣島

明治四十一年十一月卒業生（百八人）

橫川定（醫博）岡山　又森平八郎 德島　菅實 岡山　村田秀太郎 岡山

宇山榮一　德島
井上覺永　奈良
和田法雷　石川
砂田善平　岡山
水原清香　川
片山薰　岡山
×渠山武三　和歌山
三好正則　岡山
守山貞一　熊本
金山都二郎　德島
櫻井廉一　山口
森本末吉　廣島
×沖原太郎　山口
澤田保吉　三重
橫田政次　香川
村田松五郎　山口
西岡早太郎　兵庫
田宮貞純　熊本
平田金平　岡山
岩男其二郎　大分

×荻野孚美　岡山
武中勳策　廣島
×仲一司　大分
熊本密雄　德島
井上壽男　岡山
×渡邊守衛　福岡
佐藤臣少　岡山
中島正直　岡山
×松村彌助　福井
野田諦俊　愛知
×安東保大　大分
二宮岸之助　愛媛
×西本寅松　山口
大橋稠　岡山
福武敏重　岡山
福庭透　島根
岡本直藏　岡山
山口政男　長野
×森本保三郎　和歌山
渡邊光太　岡山

太田九三男　愛知
額田正　岡山
尾崎文七郎　岡山
佐藤孝信　岡山
橫田龜熊　島根
×加藤善親　愛媛
酒井惣一　岡山
×山口文市　長崎
×野平靖男　廣島
西崎辰三　兵庫
南昌朔　三重
那須四郎　岡山
平野登與一　廣島
須澤清次　岡山
高橋彌宗一　兵庫
今本眞一郎　奈良
藤河喜人　廣島
南川義一　大阪
長野健次郎　岡山
岡田淳一　岡山
鈴木幸熙　東京

久保富太　香川
林昌　岡山
高龜良樹　廣島
×太田逸人　岡山
×加藤善親　愛媛
酒井惣一　岡山
×山口文市　長崎
×野平靖男　廣島
西崎辰三　兵庫
南昌朔　三重
那須四郎　岡山
平野登與一　廣島
須澤清次　岡山
高橋彌宗一　兵庫
今本眞一郎　奈良
藤河喜人　廣島
南川義一　大阪
長野健次郎　岡山
岡田淳一　岡山
鈴木幸熙　東京

×伊藤忠五郎　三重
藤義雄　大分
十時龍雄　福岡
渡邊僳史　愛媛
佐々木利平　廣島
鷲野林次郎　岐阜

×高見賴治　岡山
根鈴勝太郎　島取
加地盛三　愛媛
岩田岩次郎　岡山
×河本申二郎　岡山
秦知二　東京

大野勘藏　愛媛
本鄉仞　岡山
×高階照夫　岡山
高木武次　愛媛
×西川千代松　東京
小川邦愛　岡山

×山內宗生　三重
三宅伯一郎　岡山
井關誠一　和歌山
井水柳軒　大分
米川良遞　三重
×八木治郎　大阪

明治四十二年十一月卒業生（九十五人）

三宮信彥　高知
大西永次郎　岡山
山下勇逸　廣島
藤岡耐三　岡山
谷義夫　德島
前原嘉六　廣島
大谷宇三郎　廣島
高橋靜間　廣島
土居摸太郎　愛媛
黑田純三　和歌山
×宮地繁樹　高知
得津慶一　和歌山

中野太郎　長野
齋藤清德　島
川崎力雄　茨城
田伏德藏　和歌山
池田嘉一郎　和歌山
鶴見鎌三郎　岡山
葛西明　京都
松永威　香川
信永才一　廣島
南場秀一　鳥取
賴富英吉　香川
平井重次郎　岡山

須藤潔　岡山
佐藤吉玖　岡山
河本信一　廣島
藤井眞澄　岡山
重松靄　愛媛
町井貞敏三　重
杉山榮　岡山
三宅助一　香川
×狩谷猛　岡山
松本胤逸　香川
森德大郎　島
武井艮一　岡山

對馬正五郎（舊小田郡）　青森
井上敏夫　廣島
高橋莊太郎　廣島
若田五百里　廣島
松村政平　和歌山
溝上茂一　和歌山
林昇　岡山
藤本友之進　山口
神尾正詳　廣島
坂部一作　岡山
禰屋鎭　岡山
安井俊二郎　愛媛

×都能（舊赤松）唯市愛媛　寒川秀雄和歌山　高橋四郎（醫博）岡山　×田端重吉廣島
松田茂樹鳥取　×堀口久樹（醫博）德島　×山下重義德島　林充明三重
眞鍋泰藏山口　沖津亘德島　稅所貞彦鹿兒島　×山田稔岡山
三宅三吉佐賀　川西道太郎岡山　香川小四郎香川　森忠男廣島
×栗田櫻桃丸愛媛　坂口壽七郎福岡　永原哲一岡山　大口壽香岡山
遠山久大福岡　近藤博兵庫　村瀨達三岡山　牧原勉三廣島
山中惣次郎和歌山　岡田胤茂愛媛　內田登一郎愛媛　×鳥越幹夫岡山
林信一三重　山口栞岡山　三原信章廣島　花房秀三香川
×佐藤孫重岡山　橫內（舊片山）喜馬太岡山　鈴木鏗爾岡山　鳥田奈良吉廣島
鈴木茂山梨　金谷忠景岡山　三村次郎岡山　×山本榮助岡山
下瀨政三山口　永井達三岡山　仲田達夫岡山　×石田哲廣島
門多秀之愛媛　湯原美夫香川　上田保令大阪

明治四十三年十一月卒業生（百十一人）

（內修了生二人）

×河田壽太郎岡山　福本清兵庫　岡芳江高知　山脇逸三廣島
松本武一郎香川　坂井直一石川　松枝新岡山　水田泰了高知
中原園惠岡山　松岡金治岡山　好本（舊荒木）和多里岡山　坂上直道和歌山
×高橋藤隆高知　片木（醫博）龍藏大阪　木村亨島根　齋藤忠治山口
安田覺造岡山　佐藤信雄島根　正田浦吉廣島　高祖（舊岡田醫博）敏雅岡山
×福井清治高知　人見鹿太郎岡山　松房一郎和歌山　矢野龍雄和歌山

赤松善淨兵庫　藤井哲造廣島　古田金造和歌山　增野純亮山口
小林平吉岡山　野上尙志岡山　平賀喜多男廣島　川野昇大分
×岩佐高次岡山　武內省也岡山　村上壽次岡山　松森正純兵庫
藤村幸輝京都　松田良樹廣島　大津寄義三岡山　阿部營之大分
紀一字大分　大淵英一島根　東原尙一香川　栗田朝春愛媛
三吉基雄山口　岩堂四郎岡山　長田孝一岡山　伊藤一登廣島
河野壽廣島　打橋俊雄和歌山　杉山龜之助岐阜　天田照男廣島
種谷利夫兵庫　人見楠右衛門岡山　今井兼輔滋賀　谷精二岡山
井上登眞太岡山　宮西寅之進和歌山　島岡厚吉奈良　小堀利一郎岡山
坂本正三奈良　井上八重二岡山　×平野主計和歌山　小川作藏大阪
佐々木安市鳥取　財滿平也山口　岩崎衛二兵庫　安永謙逸福岡
×深潔重直高知　有吉憲治福岡　淺野與岡山　城戶通德愛媛
加藤謙鳥取　小野誠業島根　西原友一愛媛　長田祖村山梨
池田正行廣島　杉田俊三大阪　寺本亦吉島根　山中團丸山口
平井義男岡山　日下部弘山形　近藤正信岡山　北野秀正福井
藤井義熹廣島　藤井貫一大阪　川原信與德島　大谷治人山口
米川覺一三重　佐々千笠島根　×川本喜代一廣島　由井源七郎愛媛
×山田敏彥廣島　中川敏雄廣島　瀨尾淳一廣島　藤井彌二郎大阪
豊福盛平岡山　鳥羽純吉兵庫　森茂三重　成相一理島根
山地篤藏香川　神澤修兵庫　織田宗次岡山　內田猪之助岡山

坪井嵯岡山　青江巖岡山　小澤郁二愛知　寺澤剛一岡山
吉岡好助山口

修了生　二人

池成沇朝鮮　姜元永朝鮮

明治四十四年十一月卒業生（九十人）

（內修了生一人）

平野林福岡　坂部浩岡山　狩野行平島根　村田英一兵庫
豊田修三郎愛媛　×渡邊順次岡山　×仙波磯次郎愛媛　濱良三和歌山
田中長之助島根　×菅舜太愛媛　村田良一兵庫　佐々木綱太郎岡山
石井義章岡山　谷口耐岡山　小坂次郎廣島　柏原完造廣島
金親坦大阪　小松原猷之助岡山　中田正景兵庫　岡村舜三岡山
安東寛岡山　柴英雄岡山　柏原一郎高知　富田貞松福岡
佐久間成三兵庫　堤清太郎三重　×漆原登香川　牧田正門岡山
×岡本龜太郎愛媛　高橋統閭山梨　×內田眞壽太岡山　岩中三郎山口
小林建太郎岡山　井口法太郎岡山　伊丹武男岡山　稻富一郎鳥取
山田實二岡山　和泉正之香川　金森健治島根　菊川鄭二愛媛
矢野義德兵庫　高杉早苗廣島　二宮正直愛媛　細川隆一三重
×村井素直廣島　武藤義忠岡山　×結緣新六郎岡山　河野一男廣島
櫻井鄉三山口　德廣龜治高知　大原四郎廣島　波多腰鐸太郎長野
濱崎藤吉郎岡山　神山房助和歌山　齋藤尙雄三重　上田義信岡山

×阿蘇直江廣島　高越澤太郎岡山　仁科稔夫岡山　清住要廣島
大瀧登岡山　井坂重三三量　兒玉政男廣島　武波晋一山口
藤野直亮山口　中內一郎德島　×原田堯一廣島　土居盛登山口
馬島昇一德島　近光增夫岡山　×岡廣島根　太田勵司兵庫
岩佐誠一山口　稻田逵三廣島　山田昇兵庫　×堀江又四郎和歌山
村田武夫愛知　今田立彥岡山　津田薫太岡山　×廣瀨信孝山口
石井誠次郎岡山　×望月節治郎廣島　杉山九一山口　池口順一郎大阪
星島卓爾岡山　福原泰造廣島　×早川次郎愛知　田村節夫廣島
佐藤敬造岡山

修了生　一人

韓興敎朝鮮

大正元年十一月卒業生（八十七人）

永瀨貫一郎島根　椋代角一岡山　白玖壽雄香川　赤木金太郎岡山
今橋鉄三山口　×山中喜一兵庫　高橋義藏三重　北光三大阪
田中幸祐岡山　丸川千基岡山　山中茂愛媛　泉松之助大分
雖波謙治岡山　川田稔高知　×島內義貞高知　久々原政一廣島
×岸本三郎岡山　×小島乾二廣島　福井宗平山口　大屋藤一郎島根
高城喬熊本　永島良之輔京都　二神種郎東京　水之江圓珠大分
三宅正三岡山　坂野義誠岡山　蓮井直衛香川　影山重士岡山

宇野實岡山　坂上愛之助鹿兒島　柚木唯二岡山　服部利恭奈良
佃卓三郎愛媛　河野通武山口　田村知重愛媛　甲斐義長大分
十市正一高知　松尾正人（舊井上）廣島　大內健太郎宮崎　糸井米治京都
小林英輔岡山　藤澤五六岡山　×福鎌胖東京　神崎猪之吉島根
×北村文吾大分　森川光治兵庫　齋藤壽福（舊渡多野）山口　鳴田忠男廣島
岡保銳三重　×松澤芳五郎山口　北川直猪高知　松田忠吉岡山
小川一三岡山　山部城山口　穀內輝夫兵庫　河崎直岡山
梅田好只廣島　彌政竹雄山口　宇野圭三（舊前田）兵庫　×松岡靜雄大分
山田武雄福岡　山本泉平岡山　中島定教（舊土師）大阪　關政則高知
竹內壽滿治長野　中村增一廣島　×長野敞一兵庫　福島久吉德島
佐々木成器三重　中原衛貞島取　×林猛夫大分　蓬萊武次兵庫
和田源六德島　山田則三山口　上原六郎（舊土居）岡山　濱田友次郎廣島
山崎龜一三重　大澤俊郎島根　大山忠三郎香川　秋月春莊愛媛
前田不瓢器愛媛　玉置昇二奈良　森修平岡山　山崎祐保高知
合田壓成愛媛　中村寬岡山　西田琢磨兵庫

大正二年十月卒業生（九十人）

（內修了生一人）

藏本貢廣島　增田惣治和歌山　重松惠祐愛媛　佐藤武雄島根
增田春一（舊太田）愛媛　岸本宗治郎岡山　天田勘七廣島　尾木竹吉高知
清岡直高知　菅本一之大阪　藤原政雄（醫博）岡山　×大浦精長崎

二村久雄福岡　工藤磨大分　佐々木三郎太分　藤森眞治（醫博）兵庫
西田熙治山口　關場代五郎（舊高田醫博）岡山　桑原繭造廣島　青野正雄東京
山崎磐兵庫　首藤武雄大分　×岡本亮一愛知　井上文夫廣島
高島義治鳥取　寺坂幸太郎愛媛　×中村邦彥三重　橫山寅二廣島
竹內岩雄大分　阿須賀四郎廣島　×高田安次德島　齋藤代次郎岡山
廣田吉太郎高知　鹿毛茂樹佐賀　三浦高一山口　南川欣司兵庫
福田德治郎兵庫　宗盛宗人廣島　畠山恒三廣島　武田俊一郎（醫博）宮崎
服部堯佔愛媛　田井稔香川　濱田堯民德島　清水憲介山口
笠井隆吉廣島　西垣儀太郎京都　×狩谷浩廣島　持田武廣島
岩井龜治大分　多田繁（醫博）廣島　×藤澤澤記兵庫　黑住久岡山
有馬雅輔山口　大原順一廣島　×津堀保熊本　×守屋愛吾岡山
×佐藤明岡山　高山良兵庫　橋口繁鹿兒島　小東四郎廣島
竹本巖廣島　小坂金吾（舊元岡）岡山　森脇源吉和歌山　藤田茂香川
×佐藤孫市三重　新宗一大阪　西井鹿二岡山　佐久間政次郎愛知
原隣臣岡山　伊藤幸憲（醫博）大阪　×中島楠男岡山　新山潔京都
高井禎造山口　×久保岩造山口　平岡篤廣島　山根文士廣島
內藤業太郎（醫博）岡山　妹尾良藏鳥取　中川俊一兵庫　×川上隆治島根
山口茂岡山　柴田剛太岡山　森肅郎廣島　八井田茂實高知
敕使河原文兵庫　橋川市太郎三重　長谷川郁兵庫　×近石雄平香川
丸山敬延岡山

修了生（一人）

張積仁 支那

大正三年十一月卒業生（九十八人）

田邊郁郎 岡山　高橋昌造 島根
黒目丹一郎 島根　橋本政一 兵庫
濱田榮一 京都　井原愛雄 愛媛
牛尾八治 兵庫　×中原武一 岡山
中野林一 廣島　武内利張 高知
濱田彦九郎 高知　栗栖幸穗 廣島
×三谷弘 廣島　菅實 愛媛
上野亮藏 大分　山崎雅爲 高知
土井浦二 廣島　正岡一董 廣島
妹尾義一 岡山　田中繁藏 三重
池田重保 宮崎　山口一雄 東京
田中貞夫 岡山　大森保 岡山
後藤富春 愛媛　太田顯 香川
近藤哲四郎 岡山　伊達珍馨 鹿兒島
草野實 山口　古谷滋夫 福岡
繁田齊 兵庫　富岡敏哉 佐賀
古瀨久敬 島根　美木俊雄 岡山
山崎輝 愛知　×倉藤初次 岡山
田部浩 廣島　藏田利作 山口
林昇 岡山　河野明一 廣島
廣川友一 愛媛　佐野實 兵庫
阿部常司 岡山　田邊貞一 山口
太桐良藏 岡山　高橋規浩（舊名員夫） 廣島
岩橋宜雄 和歌山　藤田秀三郎 京都
×大竹恭二 兵庫　渡部元 鳥取
木畑辰夫 岡山　己斐言 廣島
黒川節司 廣島　永野武二 熊本
南部英雄 山口　吉田一夫 兵庫
山本敏晴 京都　佐藤敏夫 岡山
矢谷義夫 岡山　山科辰雄 奈良
×天川保 兵庫　×肥野藤貞夫（元松井） 廣島
山下賢範 岡山　長野寬治 兵庫

安積一郎 兵庫　高木信德 島
×永野實雄 廣島　谷内與一郎 大阪
木本欽吾 奈良　白石保 愛媛
平井義雄 岡山　金谷卓爾 大分
今川梧郎 岐阜　内堀昌光 兵庫
黒川幸二郎 大分　井關實二 京都
越智昇一 廣島　相原義一 福岡
西川勳 岡山　小澤清躬 靜岡
井上義夫 山口　×渡邊亮 岡山
矢原四郎（元安部） 香川　岡本英一 大阪
水野周逸 愛知　梶谷俊三 愛媛
柏木俊二 兵庫　池井彦策 宮崎
中山俊雄 兵庫　×坂井修 廣島
池田昇（舊名） 廣島　篠崎憲吉 愛媛
生馬茂 和歌山　×森文雄 岡山
岡順二 和歌山　林廣天 鹿兒島
山道謹爾 長崎　保井彦三郎 和歌山

大正四年九月卒業生（九十八人）
（内修了生八人）

奥島貫一郎（舊名澤） 愛媛　砂田庫太郎 愛媛
望月久雄 德島　×福家玄太郎 香川
田村益光 高知　×松井武三 愛知
浮田勝造 岡山　武部明夫 三重
入東武利 愛媛　中井茂樹 廣島
木村直慶（舊名博） 奈良　宮本眞男 和歌山
白坂正吉 山口　安田仙次郎 兵庫
×金綱壽雄 廣島　×渡邊充吉 廣島
×石井秋藏 廣島　正井發二 兵庫
矢吹浩（舊名澤） 岡山　中村楙樹 和歌山
武田三郎（舊名澤） 愛媛　新谷靜一 岡山
島田豐文 大阪　小山弘（舊名滋野井至孝） 岡山
菅田直樹 廣島　石川西村敏也 京都
中村慶藏 三重　須賀松三郎 岡山
三木明治 德島　杉岡專吉 愛媛
杉岡泰一 岡山　宇都宮博章（舊名澤） 愛媛
大林關忠 香川　瀧稻生 愛媛

都田　實　鳥取　松島滿末　島根　筒井順和　山口　×利岡禎祥　高知
赤木義孝　岡山　東鄉安兵　兵庫　金光三郎　岡山　戸田茂　岡山
三好義雪　廣島　舊八名上田曉　岡山　山藤稔　島根　風呂野澤一　廣島
伊藤恒二　大阪　久代義雄　山口　森戸登守　廣島　長直登　廣島
川上慶三郎　香川　三原常雄　熊本　越智伍七　愛媛　渡邊常藏　廣島
小橋納一郎　奈良　白石隆一　愛媛　野內繁　島根　田中正慶　鳥取
三宅朋一　岡山　平原準一　岡山　山邊暉政　德島　鎌田健治　愛知
河島寬　岡山　北本宗治　大阪　石松又生　大分　西田卷三　岡山
岡部秀男　兵庫　高橋ヒ政太郎　大分　黃田克巳　廣島　友澤辰治郎　兵庫
岩坪源治　和歌山　橋田篤　鳥取　吉田春壽　高知　林佐　廣島
山縣修　山口　木下正之　鳥取　上田宗一　愛媛　柳井勝人　島根
×三谷善吉　香川　草野源太郎　京都　扇田豐　愛媛　糟谷達太郎　靜岡
×高橋隆彥　島根　×眞鍋昇　香川　別府伊三郎　愛媛　岡本東洋男　岡山
田淵清德　島　荒木豐吉　愛媛

修了生　八人

金永華　朝鮮　孫柳溪　支那　鄭錫鎔　朝鮮　楊瑞苞　支那
巴忠祥　支那　李光綸　支那　焦增祺　支那　鄒懷淵　支那

大正五年五月卒業生

赤堀淳太郎　岡山　中村松男　廣島　田岡清夫　德島

（九十六人）
（內畢業生三人）

岡島壽大　分

倉內嘉也　岡山　大屋音市　島根　高山榮次郎　群馬　戶川要平　岡山
光田利三郎　岡山　小林孫兵衛　岡山　大谷顯三　岡山　森谷善七　岡山
中村四郎高知　三宅誠一　香川　×山路順之助　愛媛　勝田稚　和歌山
伊賀久家　岡山　神谷英典　愛知　濱田豐介　鹿兒島　渡邊清　岡山
太田近治　岡山　×三宅卯一　岡山　×板野泰治　岡山　山崎敏郎　岡山
眞砂幸一郎　和歌山　谷村政體　兵庫　高原武一　兵庫　妹尾唯治　岡山
遠藤信昌　島根　三藤香吉　廣島　高橋勝護　高知　增田眞次　兵庫
×荻野正一郎　和歌山　永井萬龜雄　廣島　園田富士彥　京都　常包明　香川
木村義郎　鳥取　關正次　岡山　吉田千束　長崎　岩藤政太　岡山
舊太田龜山　晉　岡山　緒方顯孝　香川　福原讜　廣島　三好悅一　廣島
高見喜夫　兵庫　陶守三思郎　岡山　松岡賢一　廣島　山名良造　和歌山
中島龍一　島根　田村眞一郎　山口　×川下義見　香川　×秋山豪之　廣島
井上秀男　岡山　加藤龜龜　廣島　向谷準一郎　兵庫　岡田俊之　岡山
湯山辨作　靜岡　森川尙岐　阜　原田忠男　和歌山　高本芳郎　山口
森下伊右衛門　兵庫　出口林一　三重　笠井經夫　岡山
梶谷尙　岡山　吉川勝司　奈良　河野進　德島
植田不二三　廣島　×齋藤忠明　岡山　西尾修五郎　奈良
大谷惣次郎　大阪　井田政次郎　大阪　早川清雅　愛知
香西眞一　岡山　藤田義信　山口　×井上禎治　大分
原英男　岡山　小川基靜　岡　渡邊芳一　愛媛
安田正一郎　愛媛　西山凌雲　高知
越賀謙治　兵庫

志村實五山梨　小川澈麿和歌山
木村保廣佐賀　×中川村雨京都
長谷雄二郎大分　更谷武一奈良

畢業生　三人

金烟轍朝鮮　葉毅支那　王魁元支那

大正六年五月卒業生　（九十八人）

（内畢業生一人）

正木豊兵庫　廣畑龍造廣島
七樂虎雄福岡　長谷川靜一兵庫
吉田功愛媛　上村克巳大分
吉栖生一岡山　秦幸文島根
由井勝兵庫　岡上富貴男高知
永田佐次鹿兒島　河合一郎岡山
川北伊勢吉高知　梅崎明兵庫
×北川正一兵庫　多田幹兵庫
前川鼎岡山　安原節太郎兵庫
沖野勝治廣島　內山友吾廣島
松尾潔山口　大石仁八德島
宮本保和歌山　乾清一德島
野田要香川　二川敏明香川

舟木靜京都　伊澤好爲山口
×土橋彌太郎和歌山　渡邊善朝大分
福本武雄兵庫　岡崎卓一岡山
松岡元治郎三重　村山富治茨城
須之內權三愛媛　時枝正喜大分
神崎勳岡山　×鹿谷啓京都
阿部敏英山口　木畑元米岡山
藤原角一岡山　請川秋義香川
原田篤郎廣島　×小野是一岡山
水上浩熊本　細川正樹廣島
山本覺圓和歌山　小高與吉岡山
木田茂香川　永瀨寬一岡山
松林保太郎山口　田宮貞亮熊本

和田直吉愛媛　眞部正光愛媛
後藤義貞香川　大石松一兵庫
平松啓一岡山　津本由次郎和歌山
美馬林一德島　畠山長作廣島
伊藤愼一東京　大森操大阪
大藤利治山口　藤村柳吉山口
中川貞二大阪　深瀨隆彥岡山
寺尾德意高知　井林清治廣島
百東昌言福岡　櫻林哲二山梨
阿波桂一郎和歌山　井上明大分
市來政義鹿兒島　細野季彥岡山
山口巽鹿兒島

畢業生　一人

李甲洙朝鮮

大正七年五月卒業生　（八十八人）

（内畢業生六人）

山口左仲長野　高田令造島根
中野芳熊山口　大岩博雅愛媛
八木重一愛媛　黑木武一廣島
三好駿次郎香川　土井忠岡山

伊東道清愛媛　山本義雄和歌山
三橋長一大阪　吉田秀雄兵庫
今井正善岡山　×龜山幸衛愛媛
桑名省郎高知　內野彌次郎山口
松岡周藏福岡　中瀨清德島
森艮珪德島　安本義雄島根
×太田喜次郎和歌山　山口近義奈良
宮竹圭一郎大阪　寺松隆太郎岡山
中山二郎神奈川　水島愼吾岡山
松浦堯兵庫　藤本忠夫兵庫
中村英夫島根　×宗像春三山口

×柏清二廣島　中山喜美雄鳥取
田邊操岡山　佐藤美實山口
×中田理吉岡山　遠谷保東京
齋藤治岡山　三宅正雄岡山

山本宗平 三重
小竹豊 岡山
登坂清喜 山口
龍治節三 岡山
扇谷茂泰 愛媛
横尾秋夫 島根
岡元一 岡山
太田仁平治 岡山
×伊藤和一 廣島
湯淺玄雄 德島
由良金一 京都
望月冬樹 廣島
楠見尙義 和歌山
×辻田象次郎 愛媛
三上紀之 兵庫
光武順一 佐賀
中村善男 岡山

舊橘 山田金吾 德島
深井昇平 岡山
高田弘 廣島
長崎榮平 島根
田村權五郎 廣島
乾茂造 大阪
松村克郎 高知
朝川尙靜 岡
松島巖 德島
寺川不二夫 大分
×石田圓之助 大阪
岸本芳秀 岡山
日域旭丸 廣島
木村正可 大分
古林榮次郎 德島
小林壽郎 廣島
×安藤治人 大分

平野友弌 山口
田中德次郎 大阪
高橋肇 廣島
太田幸衛 岡山
遠藤壽太 岡山
木村敏太 岡山
清水龍介 高知
壚川宗次 鹿兒島
西田市助 廣島
竹內守之輔 愛媛
竹本勇藏 廣島
高橋良雄 大阪
石原英俊 岡山
×大隅保一 愛媛
長尾壽 廣島
加藤三郎 京都
水貝作一 三重

久本實 三岡山
林隼人 福岡
吉永義雄 長崎
柴田義一 兵庫
小池輝 廣島
川本健次 京都
內海重多郎 廣島
五十嵐香 山口
横田豊治 愛知
馬場武 岡山
秋田秀 岡山
秋山成六 岡山
竹島光藏 大阪
坪鄉敏亮 岡山
山岸恒 三重

畢業生六人

金榮五 朝鮮
謝剛傑 支那
鐘季囊 支那
吳克俊 支那
龔逸驥 支那
龔鯤 支那

大正八年五月卒業生（九十九人）

篠原一幸 石川
海野仁造 岡山
×岡村剛次郎 廣島
多田武 香川
牧野眞人 福岡
森野隆 高知
富山四郎 岡山
明渡侃治 和歌山
橘芳樹 愛媛
杉本四郎 三重
中川武雄 兵庫
本城定男 岡山
×黑田堅二 兵庫
藥師寺忠志 岡山
安本和夫 佐賀
小野逸士 岡山
麓善造 廣島
佃武左衛門 岡山

村田保常 愛媛
×後藤英明 廣島
北山幾太郎 奈良
山本宗次 和歌山
保田潔 和歌山
池浦義夫 香川
前島武夫 島根
戸出軍兵 岡山
小坂成信 廣島
熊岡貞和 香川
中村泰吉 大阪
南川良昌 鹿兒島
河田豊 岡山
清水伸 岡山
×北原牧之助 福岡
狩野右玄治 岡山
橫山周一 和歌山
黑田強平 宮崎

（內畢業生四人）

×藤本輝雄 兵庫
大橋要人 岡山
渡邊九郎 愛媛
黑瀨巖 岡山
西村英二 兵庫
樋上蓁一郎 滋賀
×原文藏 兵庫
友廣利親 山口
×西谷璠次郎 德島
折島整 兵庫
村上博一 愛媛
澁谷清 島取
前原士郎 廣島
佐藤俱正 德島
吉松正文 愛媛
伊藤不羈夫 福岡
安井直澂 三重
河野英夫 廣島

武野一雄 岡山
小田貞男 山口
仁木久雄 德島
下垣義知 島根
江口博 岡山
中尾祐三郎 德島
森脇了三 島根
今村朔雄 岡山
山本申三 長野
齋藤俊則 奈良
眞鍋武俊 愛媛
小西倒一 愛媛
菅野大作 三重
鎌田維三郎 德島
壚見喜世間 京都
喜多村練三 岡山
於保泰造 佐賀
須賀廣太 岡山

坂上一彦兵庫　近藤鼎奈良　岡暢岡山　長坂岳水廣島
太田胖岡山　永井政德廣島　尾高甫岡山　日竝溫和岡山
建銳朗岡山　島田嘉奈哉愛媛　大村佐雄德島　日高弘島根
西山昇高知　市川正平東京　土手恭藏京都　×常次熊次兵庫
[illegible]岡田正矩三重　穗積孝悌秋田　石橋東福岡　舊池田平松直岡山
萩谷勝茨城　今西順治奈良　李甲洙朝鮮

畢業生四人

廖鼎銘支那　姚鴻翥支那　吳光濤支那　龔文燦支那

大正九年五月卒業生（百二十一人）

[illegible]林香苗德島　怡土良三福岡　[illegible]唐澤利千雄長野（內畢業生三人）　大城眞鄉福岡
×小田義彥廣島　松谷辰造東京　三宅正一岡山　×小川庄三鳥取
[illegible]門脇善次山口　橋本孝之助廣島　藤政清石山口　佐藤政夫岡山
田內尙民高知　一宮一德大分　小松原一郎島根　吉川朋來岡山
丹原驍夫岡山　越智雅二郎愛媛　[illegible]原勝巳岡山　[illegible]御前慶造和歌山
渡邊恒藏鳥取　土井眞一岡山　北林稔和歌山　城義彰山口
堀勘市山口　佐藤一衛岡山　山尾圓一廣島　井上易憲鳥取
山田一三郎大阪　雲英元雄愛知　村田帶雲山口　石尾健次郎岡山
山田甫一靜岡　森定惠岡山　[illegible]野坂綱定鳥取　[illegible]森木光麿高知
中井義重三重　小野獻吉岡山　樋上士六廣島　正田政人廣島

宗野正兵庫　前田與三郎愛媛　野津芳孝島根　鈴木鉄夫宮崎
戶田勇一廣島　逸見銀三郎埼玉　松本藤繁愛媛　藤原寬治兵庫
×高井春生山口　[illegible]大林新廣島　米澤隆之兵庫　毛利明弘岡山
力丸匡兵庫　佐藤忠躬大分　赤堀茂樹岡山　西海一山口
藤田富枝愛媛　河田豊章岡山　三木克彥廣島　林成道山口
有吉邦男福岡　×松岡意敬岡山　木元六郎山口　武田光治岡山
湯淺忠雄德島　玉川忠太兵庫　久留島通政廣島　內藤默仙山口
下山丈夫岡山　花室憲章熊本　田和輔廣島　佐藤鳴海大分
新免精岡山　×[illegible]安武輝一大阪　辻哲二愛媛　大原孝度廣島
山本豊之進兵庫　小野哲二岡山　島中敏郎岡山　富岡諒一岡山
宮本巖山口　重本立郎山口　喜多島健麿岡山　田中政次山口
[illegible]島山拓一廣島　北村四郎三重　太田澄山口　小田薰愛媛
佐野有俊愛媛　沖隆廣島　[illegible]小堀文哉岡山　辻岡新作山口
藤田朝治兵庫　藤波三元夫東京　足高萬太郎奈良　正田明貫岡山
秋本運[illegible]岡山　近藤寅夫廣島　朝隈末次鹿兒島　池田正夫岡山
金子茂廣山口　樋口敏雄滋賀　新藤輝雄山口　[illegible]植苗福次郎京都
小川岩雄廣島　有馬實廣島　石原順福岡　[illegible]藤田正夫愛媛
半田稔兵庫　涂爐臺灣　山田謙吉岡山　和佐景山口
桂義一兵庫　吳泉臺灣　林育伯臺灣　楊丙炎臺灣
森下正一岡山　山本正臣岡山

畢業生三人

金烟逢・朝鮮陳賀慶支那

大正十年五月卒業生（百七人）

（內畢業生一人）

今川誠一香川　石井生夫岡山　伊藤啓二岡山
×飯田俊彦長崎　濱崎幸雄三重　濱條信一德島
西村慶次兵庫　友澤昇山口　大森精一岡山
沖井磯吉廣島　大塚亮三廣島　奧村雅延岡山
奧田豊兵庫　渡邊公夫島根　渡邊國義大分
渡邊涛長崎　渡邊馨廣島　桂正胤德島
加藤章熊本　×川崎明二鹿兒島　×川崎久夫岡山
柏村儔雄福岡　×川原敬雄德島　吉田畫一德島
田代登廣島　高原靜夫岡山　園部和男岡山
坪井義晴廣島　×中野功三重　中野滿隆愛媛
中村康哉島根　雜藤博夫岡山　村田健輔山口
上田泉高知　上田慶一郎福岡　上塚荒治岡山
野崎美稔岡山　野田榮橘和歌山　野間新廣島
×久保銀松高知　山縣是之廣島　日下部求岡山
八木忠亮兵庫　安岡經高知　山下雄澄鹿兒島
松田國重山口　丸茂岩夫廣島　×安田美二鳥取
　　益田集太廣島　山崎義郎和歌山　松村丈弋山口
　　　　前田純史兵庫

松田清京都　藤井清信愛媛　藤本秀次兵庫　藤江蕭太郎德島
福島貞敎兵庫　小坂泰輔岡山　×鄉古溫巖手　小林兵馬廣島
黃三朋臺灣　本臺灣　兒玉利堯鹿兒島　寺本重樹福井
寺迫新次廣島　寺尾尙文岡山　赤尾壽山梨　青山貢廣島
赤木謙吾岡山　佐藤義敏兵庫　佐藤道夫岡山　笹脇正彥兵庫
菊澤隆尙三重　岸本春榮岡山　木村義雄山口　木津政夫兵庫
清谷壽岡山　×三宅郁多香川　三宅乾高知　光井貞八岡山
下元猛彥高知　下津森雄香川　×重松輝好愛媛　進藤周三廣島
清水勝男岡山　廣田臻香川　東三郎鹿兒島　東三平岡山
平岡寬岡山　尾藤太靜岡　須藤五一郎高知　東未年男岡山
鈴木敏郎兵庫　鈴木義人和歌山

畢業生一人

崔鍾海朝鮮

元岡山醫科大學附屬醫學專門部

大正十一年五月卒業生（百九人）

井上達兵庫　出馬晉策三重　市村治京都　五十川健吾大分
渭東蕭京都　岩崎壽人鹿兒島　岩佐元一香川　今出金一廣島
濱崎八百松高知　蓮池堯民廣島　馬塲武夫香川　晴木親久島根
濱本信雄鳥取　西村伊勢松岡山　本川喜代一福岡　堀部元一岡山

（百九人）

井上武太郎　石田新太郎　岡山
岡野政一　岡山　×大橋潔雄　福岡
沖盈　熊本　下毛郡伊藤村　福岡
渡邊眞澄　福岡　笠原浩太郎　岡山
小津貞　岡山　上山久之助　兵庫
大熊弘　岡山　×渡邊基　福岡
木下直人　和歌山　神田憲　廣島
後輔　兵庫　河村九十九　愛媛
岡山　×京山重一　山口
大原孝次　岡山　×吉村主税　大阪
神谷晃　靜岡　佳保德　島根
田中彥太郎　岡山　黃暉　廣島
×吉岡總一　岡山　段崇　兵庫
田中彥太郎　廣島　建部（豊田）養一　岡山
高橋喜代松　廣島　田代謙二　山口
田中陸人　廣島　橘一兵　廣島
田中　敬　重　廣島　永山太郎　岡山
黃暉　秀支　那　名知敏之　東京
井戶福秀　岡山　辻田武雄　岡山
藩共　德　岡山　×大內義行　廣島
石川小次郎　福岡　下毛郡伊藤村　福岡
石原新造　福岡　上毛郡小祝村　福岡
岡野政一　岡山　×大橋潔雄　福岡
×大橋潔　兵庫　沖盈　熊本
渡邊眞　廣島　後輔　兵庫
笠原浩太郎　岡山　上山久之助　兵庫
笠原鶴太郎　大阪　×渡邊基　福岡
上毛郡小祝村　福岡　河村九十九　愛媛
×京山重一　山口　黃暉　秀支　那
黃暉　秀支　那　名知敏之　東京
田中陸人　廣島　橘一兵　廣島
田中　敬　重　廣島　永山太郎　岡山
高橋喜代松　廣島　田代謙二　山口
田代謙二　山口　名知敏之　東京
段崇　兵庫　建部（豊田）養一　岡山
建部（豊田）養一　岡山　辻田武雄　岡山
辻田武雄　岡山

大正十二年三月卒業生（百九人）

會本保　東京
谷原鬼久馬　廣島兒島
平井繁太郎　山口　三宅信　廣島
三玉雄正　廣島　進藤直作　愛媛
三浦正臣　愛媛　森岡俊喜　愛媛
平野千秋　愛媛　知　廣島
三宅長久太　廣島兒島　水州隆士　岡山
重元　眞兒島　森川巧　眞兒島
水州隆士　岡山　森元重　眞兒島
森川巧　眞兒島　水州隆士　岡山
森元重　眞兒島　森川巧　眞兒島
水州隆士　岡山　森元重　眞兒島

德丸　喬愛　廣島　大田弘毅　兵庫　大森三彥　岡山　加藤弘一　岡山　我部政光　福岡　吉田稻太郎　福岡　川戶盛三郎　三重　金田園藏　岡山　×吉川克己　島根　只友一富　岡山　武藤秀雄　岡山　田中宣康　島根　雜賀逸藏　岡山　內田敏行　山口　田中敏彥　大分　野中敏彥　大分　伊原重彥　岡山　中西節重　京都　西原重彥　岡山　村山五瀨男　岡山　仲內靜夫　福岡　竹內道眞　岡山　內田浩光　福岡　立石力　長崎　呼井賢次　山口　上野直弘　福岡　長谷川文彥　廣島　森元重　廣島　岸岡輔樂　廣島　結城英夫　島根

永州芳雄　和歌山　金澤朝鮮　廣島　佐々木　香川　有馬圭桂　那　吳光吉奈良　榎場美誠　大阪　遠田一勇　廣島　前原次郎太　廣島　京極一久　廣島　薩井恭　福岡　薩島新次　福岡　山口登　鹿兒島　山口昌一　廣島　前田助　福岡　章野關　福岡　久保田治正　和歌山　川戶盛三郎　三重　金田園藏　岡山　×吉川克己　島根　只友一富　岡山　武藤秀雄　岡山　田中宣康　島根　雜賀逸藏　岡山　內田敏行　山口　田中敏彥　大分　野中敏彥　大分　伊原重彥　岡山　中西節重　京都　西原重彥　岡山　村山五瀨男　岡山　仲內靜夫　福岡　竹內道眞　岡山　內田浩光　福岡　立石力　長崎　呼井賢次　山口　上野直弘　福岡　長谷川文彥　廣島　森元重　廣島　岸岡輔樂　廣島　結城英夫　島根

成田芳夫　德島　村上禎一　山口
上田正治郎　島根　上野博　岡山
國本武晴　兵庫　熊谷藏之允　山口
安次二郎　鳥取　安田英二　岡山
山田久夫　岡山　松岡務　山口
×藤田孝義　島根　藤原良人　兵庫
藤原皓　岡山　兒島俊亮　福岡
江原猪知郎　岡山　新勇　奈良
秋山彰　岡山　青山俊三　廣島
木多秀夫　岡山　結緣主計　岡山
篠島功　大分　松原角一　香川
廣田照輝　山口　平松信直　岡山
瀨尾正　廣島　杉本信義　岡山

大正十三年三月卒業生（百五人）

飯室俊三　大阪　井上龜次郎　和歌山
岩崎暉次　岡山　磯橋庄哲　奈良
原田輝雄　岡山　西崎武亥一　岡山
豐島一男　鹿兒島　長龜久麿　廣島
岡本俊一　和歌山　大浦榮　鹿兒島

糸林昌訓　德島　池井柳藏　宮崎
伊藤一雄　兵庫　坂東行雄　和歌山
西山逸平　香川　本多稔　長崎
大河原柳司　東京　鬼塚敦　神奈川
尾錢二郎　岡山　小野正雄　岡山

氏平繁　岡山　內田茂雄　山口
野島昌一　廣島　熊本正熙　福岡
國井順　岐阜　山中幸正　兵庫
內正　愛媛　安原寅一　岡山
丸田實　鹿兒島　丸山一郎　滋賀
藤田靖　愛媛　福家龍夫　德島
小池正之　島根　小西眞尙　富山
有井吉彥　和歌山　阿部高知　鳥取
坂本孝章　廣島　佐野進　兵庫
三村友美　岡山　三好繁一　香川
鹽見三壽太　岡山　重里權藏　大阪
日野從義　福岡　久持義明　大分
杉田浦美　愛知

尾坂政男　岡山　太田德次郎　岡山
脇田政之助　鹿兒島　河野豐　島根
勝野勝德　島根　覺前久次郎　兵庫
吉中佳辰夫　廣島　川西英雄　岡山
田中敏治　岡山　×芳井康次　大阪
田中龜　岡山　高田隆次　大分
竹谷政治　大阪　田坂三友　廣島
難波良隣　岡山　辻鹿子治　岡山
中富和夫　德島　中井良平　福岡
×浦上仲司　岡山　植村吉雄　岡山
野崎幸太郎　新潟　釘宮文生　大分
山內雅材　香川　安氏茂　山口
山鹿敏行　福岡　山岸督郎　岐阜
眞玉三治郎　大分　松家稔　德島
松枝正一　岡山　福永正二　兵庫
遠藤義信　德島　藤山嵩　岡山
赤松圓　岡山　跡部鉄朗　山梨
佐藤春海　大分　秋月正夫　和歌山
宮本種美　香川　岸虎一　德島
瀨尾仁　廣島　三島好太郎　廣島
蔡錫錡　臺灣　陳嘉得　臺灣

和田茂　島根　加藤喬　島根
川西英雄　岡山　河田榮一　岡山
加賀吳一　岡山　高市太加一　愛媛
高畠西輝　岡山　木村武　山口
田中德男　廣島　上田敏夫　兵庫
綱島義人　岡山　中村武　山口
桑島勝美　香川　山崎光太郎　廣島
八木齊　大阪　松岡恵高　知
粉川隆一　愛媛　淺田豐　大阪
笹屋昌平　靜岡　南進　大阪
柴田潤一　岡山　重信琢雄　廣島
鈴木重隆　岡山　須山義雄　岡山
黃有福　臺灣

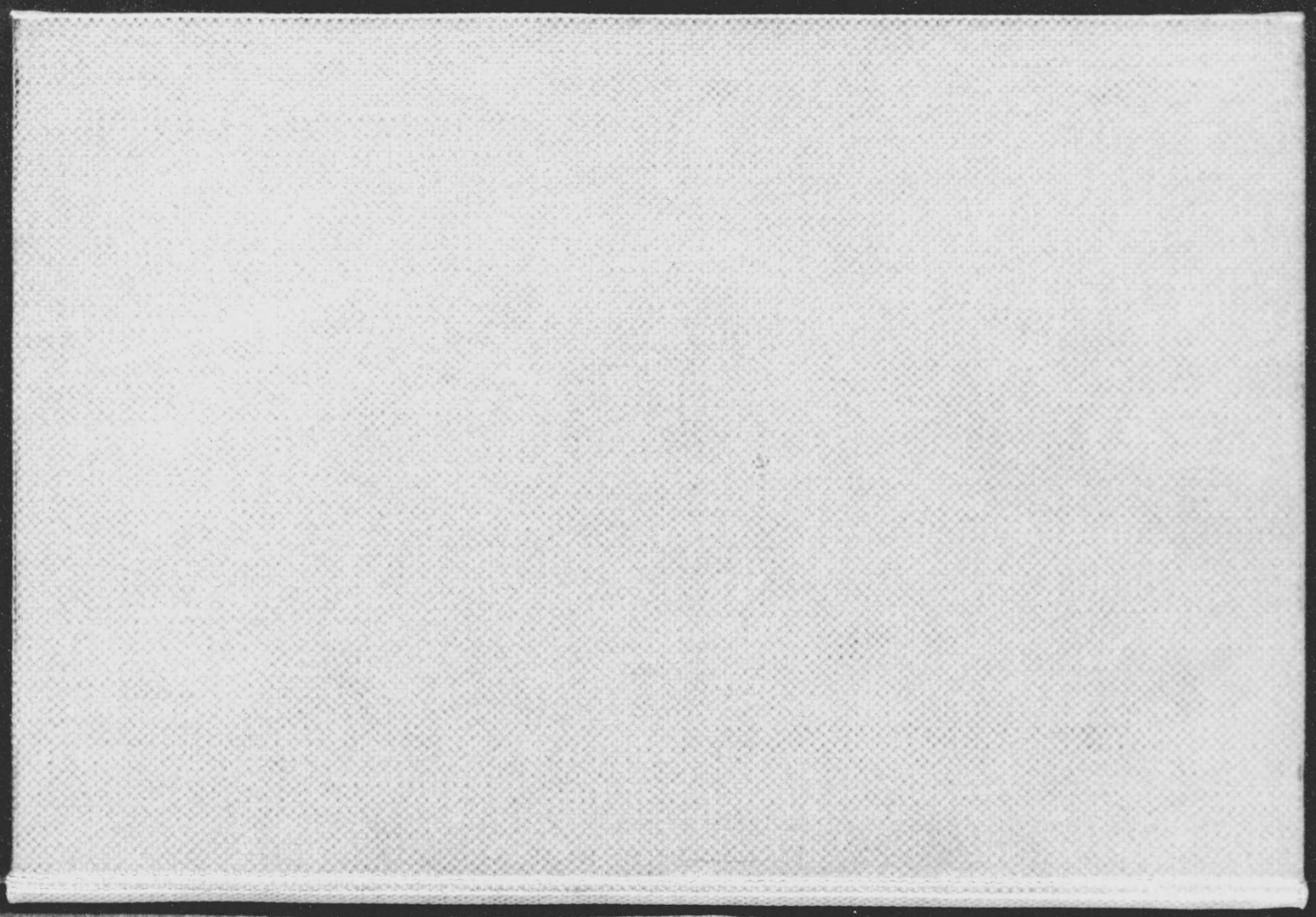
黃耀祖支那　陳人杰支那

鍾體德支那　李詩時支那　姜龍雲朝鮮

昭和五年十二月二十日印刷
昭和五年十二月廿五日發行

編輯兼發行者　岡山醫科大學
岡山市岡山

印刷者　青葉定吉
岡山市內山下三十六番地

印刷所　吉備印刷所
岡山市內山下三十六番地

エトSN-88